

平成二十二年 全国学力・学習状況調査

解説資料 中学校 国語

平成二十二年四月

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

はじめに

平成二十二年度全国学力・学習状況調査は、小学校第六学年及び中学校第三学年の児童生徒を対象に、四月二十日に実施されました。

調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。

調査の内容は、教科に関する調査（国語と算数・数学）と生活環境や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒対象と学校対象）があり、教科に関する調査は、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題の二種類からなります。

主として「知識」に関する問題は、①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、②実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていくことが望ましい知識・技能などを調査するものです。また、主として「活用」に関する問題は、①知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、②様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を調査するものです。

国立教育政策研究所教育課程研究センターにおいては、教科に

関する調査に係る調査問題の作成と調査結果の分析を担当しております。

この調査においては、児童生徒一人一人の学力や学習状況の把握はもとより、今後の指導や学習の改善に生かしていくことが重要であるため、調査問題の作成に当たっては、学習指導要領に示されている内容が正しく理解されるよう留意するとともに、児童生徒に身に付けさせたい力として重視されるものについての具体的なメッセージとなるように努めました。

本資料は、教科に関する調査に係る調査問題について、実施後速やかに、学校における児童生徒への学習指導の改善等に役立てることができるよう、出題の趣旨や正答とその解説などをまとめたものです。

各学校や教育委員会において、日常の学習指導や教育施策の改善・充実に生かしていただければ幸いです。特に、学校においては、当該学年以外の先生方や当該教科以外の先生方を含め、学校全体で活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました皆様、調査に参加していただいた教育委員会、学校の皆様、本資料の作成に当たり御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成二十二年四月

国立教育政策研究所 教育課程研究センター長

作花 文雄

●本書の目的

本書は、平成二十二年 度全国学力・学習状況調査の実施後速やかに、学校における児童生徒への学習指導の改善等に役立てることができるよう、教科に関する調査に係る調査問題についての解説などをまとめたものである。

調査問題は、設問ごとの正答率や解答の状況から学習上の課題を把握し、学習指導の改善等につなげることができるよう作成している。

本書においては、問題ごとの出題の趣旨や正答とその解説、その問題と関連して今後の学習指導において参考となる事柄を記述するとともに、設問ごとに予想される解答を整理した解答類型を掲載した。

教科に関する調査については、設問ごとに 出題の趣旨に即して解答として求める条件を定め、これに基づいて採点を行っている。解答類型は、採点の際に単なる正誤のみならず、具体的な解答の状況からも学習上の課題をとらえ、学習指導の改善等につなげることができるよう、解答を分類するために設定しているものである。

各設置管理者における採点や調査の結果を踏まえた学習指導の改善等を行うに際し、本書を有効に御活用いただきたい。

●本書の内容・構成

I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

調査問題作成の基本方針として、調査問題の出題範囲、問題作成の枠組みについて解説した。

II 調査問題の解説

問題ごとに、出題の趣旨や正答とその解説などについて記述した。

1 出題の趣旨

問題ごとに把握する力やその意義、場面設定などについての解説を記述した。

2 解説

設問ごとの正答及び誤答などについての解説を記述した。

3 学習指導に当たって

問題と関連して、今後の学習指導において参考となる事柄を記述した。

4 出典等

著作物からの出題の場合、書名や著者名などを記述した。

Ⅲ 調査問題等

調査問題、解答用紙及び正答（例）を掲載した。なお、著作権の都合により問題の一部を省略した。

※ 本調査においては、障害のある児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒に対して、点字問題、拡大文字問題、総ルビ付き問題を用意した。

なお、点字問題については、問題が一部異なっており、本書ではその部分を掲載した。

（裏表紙の方から見るページ）

1 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめた。

2 解答類型

解答類型は、具体的な解答の状況からも学習上の課題をとらえ、学習指導の改善等につなげることができるよう、設問ごとの正答、予想される誤答、無解答などを分類し整理したものである。

正答については、設問の趣旨に即して解答として求める条件を定め、その条件をすべて満たしているものを◎で表し、設問の趣旨に即し必要な条件を満たしているものを○で表した。

なお、解答類型には次のように番号を付けた。

類型1～類型8（最大）：正答・予想される誤答の類型（複数の類型が正答となる問題もある。）

類型9：「上記以外の解答」（類型1から類型8までに含まれない解答。）

類型0：「無解答」（解答の記入のないもの。）

3 質問紙調査項目（教科関連部分）

質問紙調査項目のうち、中学校国語科の教科に関する項目を掲載した。

目 次

I	中学校国語科の調査問題作成に当たって	5
II	調査問題の解説	
A	主として「知識」に関する問題	9
1	百人一首を読む	10
2	身の回りの情報を読む	12
3	スピーチを聞く	14
4	下書きを推敲する	18
5	文学的な文章を読む	22
6	詩と解説文を読む	26
7	話合いをする	28
8	随筆を読む	30
9	案内文を書く	34
10	言語事項等	38
B	主として「活用」に関する問題	45
1	情報を読む(新聞)	46
2	資料を作成して発表する(消しゴム)	50
3	文学的な文章を読む(「吾輩は猫である」)	56
III	調査問題等	
	国語A(主として「知識」に関する問題)	63
	国語B(主として「活用」に関する問題)	87
	解答用紙	103
	正答(例)	109
	点字問題(抜粋)	115

(裏表紙の方から見るページ)

1	調査問題一覧表	1
A	主として「知識」に関する問題	2
B	主として「活用」に関する問題	4
2	解答類型	
A	主として「知識」に関する問題	5
B	主として「活用」に関する問題	15
	点字問題部分	23
3	質問紙調査項目(教科関連部分)	25

Ⅰ 中学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題の出題範囲

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」(平成十八年四月)では、調査問題の出題範囲・内容について、各学校段階における各教科等の土台となる基盤的な事項に絞った上で、問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにすることが望ましい知識・技能など(主として「知識」に関する問題)
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容(主として「活用」に関する問題)

また、本調査の実施によって、「各教育委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容を正しく理解するよう促すとともに重視される力を子どもたちに身に付けさせる」よう働きかけることになるとしている。

具体的な調査問題の作成に当たっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。

国語科の調査問題においては、例として、以下のような観点を盛り込むことや工夫をすることを挙げている。

- 主として「知識」に関する問題(以下、『知識』の問題)という。

- ・ 描写、要約、紹介、説明、記録、報告、対話、討論などの基礎的な言語活動に関すること
- ・ 表現したり理解したりするための言語事項の基礎的な知識技能に関すること

- ・ 我が国の言語文化に親しむ内容に関すること など

- 主として「活用」に関する問題(以下、『活用』の問題)という。
 - ・ 日常生活や社会生活で必要とされる読書・鑑賞・創作などの言語の活動の活用に関すること
 - ・ 文章を読んで筆者の主張の内容やその表現方法などを評価すること
 - ・ 伝えたい内容をまとめ表現すること
 - ・ 様々なメディアを活用することによって課題を多角的に探究すること など

本調査の調査問題は、以上の点を踏まえながら、中学校学習指導要領(平成十年告示)に示された国語科の目標・内容等に基づいて作成することを基本とした。

2 問題作成の枠組み

(1) 領域等と評価の観点

調査問題の作成に当たっては、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている三領域一事項(「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語事項」)に基づいて、その全体を視野に入

れることとした。その上で、各領域等に示されている指導事項を踏まえ、幅広く生徒の学力の状況をとらえることとした。実際の問題作成では、学習指導要領に示された指導事項がバランスよく出題されるように配慮した。また、「話すこと・聞くこと」の領域については、生徒が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難いため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近付けた出題となるようにした。

中学校学習指導要領は、学校や生徒の実態に応じた重点的な指導が行われるように、目標や内容を「第一学年」、「第二学年及び第三学年」の二つのまとまりで示している。そのため、目標や内容の観点からは明確

〈改善の具体的な方向と指導のねらい〉

<p>ア テキストを理解・評価しながら読む力を高めること</p> <p>(ア) 目的に応じて理解し、解釈する能力の育成</p> <p>(イ) 評価しながら読む能力の育成</p> <p>(ロ) 課題に即応した読む能力の育成</p>	<p>イ テキストに基づいて自分の考えを書く力を高めること</p> <p>(ア) テキストを利用して自分の考えを表現する能力の育成</p> <p>(イ) 日常的・実用的な言語活動に生かす能力の育成</p>	<p>ウ 様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実すること</p> <p>(ア) 多様なテキストに対応した読む能力の育成</p> <p>(イ) 自分の感じたことや考えたことを簡潔に表現する能力の育成</p>
--	--	---

に第二学年と第三学年とを区別することができない。調査問題の作成に当たっては、教科書を参考にして中学校における実際の指導などを考慮しながら、中学校第二学年までの内容となるように配慮した。

また、「読解力向上に関する指導資料」PISA調査（読解力）の結果分析と改善の方向（平成十七年十二月 文部科学省）では、読解力の向上に関する指針として「指導のねらい」を示しており（上表参照）、ここに示された七つの視点についても調査問題に盛り込まれるように配慮した。

さらに、中学校学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」に示されている以下の点にも配慮した。

- 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
 - 学校生活全体を通して、言語に対する関心や理解を深め、言語環境を整え、生徒の言語活動が適正に行われるようにすること。
 - 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。
- 評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点を用い、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とした。なお、「国語への関心・意欲・態度」の評価については、基本的には「生徒質問紙調査」を中心に把握することとした。

(2) 「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、各設問の出題の趣旨が学習指導要領の一つの指導

事項に対応することを基本としている。

また、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語事項」の三領域一事項のすべてからの出題となるように留意した。

「知識」の問題の例としては、実生活において不可欠な知識・技能、学習を進める共通の基礎・基本となる知識・技能という二つの観点から、次のような言語の能力を挙げることができる。

- ① 目的や場に応じた言葉遣いができること
- ② 文字や表記を正しく用いることができること
- ③ 表現したり理解したりするために必要な語句を身に付けていること
- ④ 文や文章の構成の仕方を理解し、表現に役立てることができること

(3) 「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題作成に当たっては、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」に示された例や学習指導要領に示された言語活動例を参考に、実生活の具体的な場面や生徒が授業などで実際に行っている言語活動を想定したものにすることを基本とした。そのため、「活用」の問題は、一つの領域だけでなく、複数の領域にまたがって出題している場合もある。例えば、読んだ文章について評価したり自分の意見を書いたりするなど、読むことのみにとどまらず、自分の考えなどを記述する問題を出題している。その際には、「評価しながら読む能力」や「テキストを利用して自分の考えを表現する能力」など、「読解力向上に関する指導資料」に示された七つの視点に沿った出題も含むよう工夫した。これらの問題は、一つに限定される正答を書くのではなく、いくつかの選択肢やいろいろな考え方があつたものについて、自分の考えを明

確にもつて記述するものとなるように配慮した。

「活用」の問題の例としては、知識・技能を実社会の中で活用する能力という観点から、次のようなものを挙げることができる。

- ① 現実的、社会的な状況の変化に対応しながら、言葉を介して人間関係を築いたり、社会と積極的に結び付きをもったりすることができること
- ② 調査・研究するために、自分で課題を設定したり課題を追究したりすることができること
- ③ 読んだり聞いたりしたものについて、評価したり応用したりすることができること

(4) 問題形式について

問題形式は、選択式、短答式、記述式の三つとした。

- ① 選択式：複数の選択肢の中から番号・記号を選び解答するもの
- ② 短答式：語句や短い文、数値などで解答するもの
- ③ 記述式：自分で解答を練り、文あるいは文章で解答するもの

(5) 記述式問題について

「活用」の問題には、各大問の中に一題程度、書かせる字数の限度を一〇〇字程度として、記述式の問題を取り入れていく。

記述式の問題は、次の①から③の三つの観点から作成した。

① 解釈や説明をする

文章などを読み、書かれている内容について解釈や説明をしたり、自分が考えたことを説明したりすることが中心となる記述

発表の中心としたい内容に合わせて、資料に修正を加える問題(国語B②設問三)がこれに該当する。作成した資料にどのような修正を加えて提示するのか、修正の方法とその理由について具体的に説明することができるかどうかをみる問題である。聞き手に分かりやすく説明するために、作成した資料を効果的に活用することを求めている。

② 評価や批評をする

文章などを読み、様々な観点から評価したり、自分の知識や経験と結び付けて批評したりすることが中心となる記述

文学的な文章に描かれている面白さを評価する問題(国語B③設問三)がこれに該当する。文章の内容や表現の仕方をとらえた上で、どのような点が面白いのかを明確に説明することができるかどうかをみる問題である。特に、特徴的な表現に基づいて文章の面白さについて自分の考えをもつことを求めている。

③ 感想や意見を述べる

文章などを読み、読んだことと関連付けて自分の感じたことや考えたことを分かりやすく述べるものが中心となる記述

新聞紙面から自分が興味をもった記事を選択し、その感想を書く問題(国語B①設問三)がこれに該当する。選択した記事のどの部分に興味をもったのかを明確にした上で、自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題である。複数の記事の中から興味のあるものを選択し、その内容に対して自分の考えをもつことを求めている。

Ⅱ 調査問題の解説

A 主として「知識」に関する問題

1 百人一首を読む

1 次の百人一首の札の□に当てはまるものを、「現代語訳」を参考にして、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。



【現代語訳】

あなたにさしあげようと思つて、春の野に出て若菜をつんでいるこの私の袖に、まだ雪がちらちら降りかかっているのですよ。

1 富士の高嶺に
雪はふりつつ

ふしのたか
ねにゆきは
ふりつつ

2 わが衣手に
雪はふりつつ

わかころも
てにゆきは
ふりつつ

3 ふりゆくものは
わが身なりけり

ふりゆくも
のはわかみ
なりけり

4 よしのの里に
ふれる白雪

よしののさ
とにふれる
しらゆき

現代語訳：島津忠夫訳注『新版 百人一首』による。
百人一首の札：「小倉百人一首平安」による。

1 出題の趣旨

- ・ 古典を読む際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 現代語訳を参考にして古文の内容をとらえること

ここでは、百人一首の中の歌を題材にして、上の句に続く下の句を選択する場面を設定した。

和歌の語句と現代語訳とを対照させるとともに、和歌に詠まれた情景を想像しながら読むことを求めている。

2 解説

設問

■正答について

正答は、選択肢2である。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 8
52では、古文と現代語訳とを対応させて内容をとらえることができるかどうかをみる問題を出題している。

(正答率 六五・八%)

3 学習指導に当たって

古典に親しむ態度を育てていくためには、原文を単に現代語訳する指導だけではなく、現代語訳を効果的に用いて、楽しみながらその内容をとらえさせる指導も必要である。また、古典について解説した文章や映像などを取り入れる工夫も有効である。

古典の指導に当たっては、百人一首カルタなどに直接触れて言葉の響きやリズムを味わわせたり、郷土芸能や地域に伝わるカルタなどを教材として扱ったりするなど、古典に親しむ機会を計画的に取り入れていくことが大切である。

4 出典等

現代語訳は、島津忠夫訳注『新版 百人一首』（平成十一年十一月角川書店）による。

百人一首の札は、「小倉百人一首平安」（任天堂）による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
	<p>現代語訳を参考にして古文の内容をとらえることができるかどうかをみる。</p>	<p>C 読むこと（第一学年） ア 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること。 ※《語句の意味や用法》</p>	<p>読む能力</p>	<p>2 わが衣手に雪はふりつつ</p>

※ 「中学校学習指導要領解説（国語編）」における観点を便宜上付記した（以下同じ）。

2 身の回りの情報を読む

2 次は、掲示板にはり出されていた「図書委員会からのお知らせ」の一部です。このお知らせでは、「本を借りる人が増えてきている」と言っていますが、必ずしもそのように言い切れることはできません。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

【図書委員会からのお知らせ】

	4月	5月	6月	7月	計
貸し出した本の合計(冊)	108	121	132	153	514

上の表から、本を借りる人が増えてきていることが分かります。

皆さん、これからもたくさん本を読みましょう。本は、一度に一人5冊まで借りることができます。

- 1 貸し出した本の合計が学級ごとに表示されておらず、比べることができないから。
- 2 貸し出した本の合計は増えていますが、同じ人が何冊も借りているかもしれないから。
- 3 貸し出した本が、期日を守って返却されているのかどうか示されていないから。
- 4 貸し出した本の合計は分かるが、どのような本が貸し出されたのかは分からないから。

1 出題の趣旨

- 身の回りの情報を読む際に、次のことができるかどうかをみる。
- 述べている内容とその根拠との関係について考えること

ここでは、【図書委員会からのお知らせ】を題材にして、図書委員会が述べている内容とその根拠となったデータとを合わせて読む場面を設定した。

「本を借りる人が増えてきている」という分析の根拠として、「貸し出した本の合計」を示したデータが適切であるかどうかを判断することを求めている。

2 解説

設問

■正答について

正答は、選択肢2である。

「貸し出した本の合計」の表に示されたデータでは、月ごとの本の貸し出し冊数は確かに増えてきているが、【図書委員会からのお知らせ】に示されている「一度に一人5冊まで借りることができます」という情報とともに考えると、本の貸し出し冊数がそのまま本を借りた人数であるとは限らない。

■誤答について

- (1) 選択肢1↓学級ごとの貸し出し冊数を比べることは、図書委員会が述べている内容とは無関係である。
- (2) 選択肢3↓期日を守って返却されているのかどうかについては、本を借りた人数の増減とは無関係である。
- (3) 選択肢4↓貸し出した本の種類については、月ごとに貸し出した本の冊数とは無関係である。

3 学習指導に当たって

- (1) 身の回りにある情報を読む際には、その情報をそのまま受け止めるのではなく、述べられている内容とその根拠との関係が適切なものかどうかを考えさせることが大切である。
- (2) 生徒自らが情報を収集し、その情報をもとに自分の考えをまとめていくなどの学習活動を行う際には、収集した情報をそのまま根拠にしたり引用したりするのではなく、自分の考えを示すのに適したものであるかどうかを吟味させることが大切である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

	設問	述べている内容とその根拠との関係について考えることができるかどうかをみる。	出題の趣旨
C 読むこと（第二学年及び第三学年） イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。《構成や展開》	学習指導要領との関連	読む能力	評価の観点
2 貸し出した本の合計は増えているが、同じ人が何冊も借りているかもしれないから。	正答		

③ スピーチを聞く

3 竹田さんの学校では、生徒会役員選挙が行われます。次は、生徒会長に立候補した青山さんと小川さんの「演説の一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

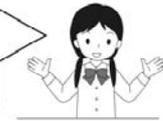
青山さんの「演説の一部」

私は、野球部の部長をしています。試合に勝つためにはチームワークが必要です。しかし、部の中にはいろいろな考え方がいます。意見が食い違ったときは大変です。でも、私はそれを乗り越えてきました。それは、部活動でも生徒会活動でも同じです。生徒会に当選したら、みんなをまとめる力強いリーダーになります。そして明るく楽しい学校を目指します。



小川さんの「演説の一部」

今までの生徒会活動では、様々な活動や、生徒会役員や各委員会が行っていましたが、私は、新しい生徒会活動の在り方を考える時期に来ていると思います。「委員会には入っていないけれど、学校のために何かしたい。」「あの委員会が行っている活動を自分も手助けしたい。」などと考えた人も気軽に活動に参加できるように仕組みを変えたいと考えています。



一 青山さんと小川さんの「演説の一部」を比較すると、二人の話し方にはそれぞれ特徴があることが分かります。青山さんの話し方にはどのような特徴がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 青山さんは、聞き手の興味や関心を引き付けるために、質問を交えながら話している。
- 2 青山さんは、自分の実績を詳しく説明するために、様々なたとえを用いて話している。
- 3 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短くして話している。
- 4 青山さんは、自分の考えを印象付けるために、重要な言葉を繰り返して話している。

竹田さんの「考え」



私も、学校のために何かしたいと思っていたんだ。青山さんが言うように、みんなをまとめるリーダーがいることも大切だけれど、小川さんが言うように、だれもが気軽に参加できたらいいな。

二 竹田さんは、二人の演説を聞きながら上のような「考え」をもちました。竹田さんは、何を重視して聞いていると考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 二人の候補者の、中学校生活におけるリーダーとしての経験
- 2 二人の候補者の、聞く人に訴えかけるような言葉づかい
- 3 二人の候補者の、演説の内容を通して感じられる人柄
- 4 二人の候補者の、生徒会活動の在り方に対する考え

1 出題の趣旨

- ・ 話したり聞いたりする際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 表現の仕方に注意して説得力のある話をする
- ・ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取る

ここでは、生徒会役員選挙の立会演説会を題材にして、二人の立候補者の演説を聞く場面を設定した。

二人の演説についてそれぞれの話し方の工夫をとらえることと、立候補に当たったときの考え方の違いを意識して聞き取ることを求めている。

2 解説

設問一

■ 正答について

正答は、選択肢3である。
小川さんの【演説の一部】が二文で構成されているのに対して、青山さんの【演説の一部】は八文で構成されている。青山さんの演説は、一文を短くし、それぞれの文の内容を簡潔に示すことで、聞き手が演説の内容を理解しやすいように工夫されている。

■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 青山さんの【演説の一部】では、聞き手の興味・関心を引くために身近な体験を例に挙げているが、そこに質問を交えてはいない。
- (2) 選択肢2 ↓ 青山さんの【演説の一部】では、野球部の部長としての実績は説明しているが、様々なたとえは用いていない。

- (3) 選択肢4↓青山さんの【演説の一部】で述べたいことは、リーダーとしての実績であるが、それを印象付けるための言葉を繰り返し使って話しているわけではない。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。
(正答率 五五・八%)

【小学校 国語A 7】

7 自分の一年間の目標を、学級でスピーチすることになりました。聞き手に分かりやすい話し方として、ふさわしいものを次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 聞き手が話の内容に集中できるように、間をおかずに続けて話す。
- 2 話が伝わっているかどうか、聞き手の表情を確かめながら話す。
- 3 聞き手に内容がよく伝わるように、最初から最後まで同じ調子で話す。
- 4 聞き手によく聞こえるように、場に応じた声の大きさではっきり話す。
- 5 聞き手にたくさんのお話を伝えたいので、できる限り早口で話す。

設問二

■正答について

正答は、選択肢4である。

竹田さんは、力強いリーダーの必要性を訴える青山さんの演説の内容に一定の理解を示しているものの、「気軽に活動に参加できる」新しい生徒会活動の在り方について述べた小川さんの演説に共感を示している。

このことから、「学校のために何かしたい」と思っている竹田さんは、生徒会活動の在り方を重視して聞いていることが分かる。

3 学習指導に当たって

- (1) スピーチという言語活動を通して、表現の仕方について指導する際には、スピーチの内容だけではなく、話し方についても意識させる必要がある。そのためには、一文の長さ、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意して話すように指導することが重要である。
- (2) スピーチという言語活動を通して、話し手の意図を考慮することを指導する際には、目的をもち、観点を明らかにして、相手の考えを聞き取らせる必要がある。そのためには、話し手も自分の考えや立場を明確にし、分かりやすく伝える姿勢が求められる。目的をもって聞くことと、聞き手を意識して話すことを相互に関連させて指導することが大切である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨		学習指導要領との関連		評価の観点	正答
一	<p>表現の仕方に注意して説得力のある話をするができるかどうかをみる。</p>		<p>A 話すこと・聞くこと (第二学年及び第三学年) ウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。 《語句や文》</p>		<p>話す・聞く能力</p>	<p>3 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短くして話している。</p>
二	<p>話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ることができるかどうかをみる。</p>		<p>A 話すこと・聞くこと(第一学年) ア 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえらるよう話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。 《考えや意図》</p>			<p>4 二人の候補者の、生徒会活動の在り方に対する考え。</p>
学習指導要領に示されている言語活動例		説明や発表などを行うこと。				

4 下書きを推敲する

4 松本さんの学級では、新入生に向けて、これからの学校生活の参考となるように「今、夢中になっていること」という題で文章を書くことになりました。次は、「松本さんが書いた下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【松本さんが書いた下書き】

今、夢中になっていること、それは部活動です。
 中学校に入学して、初めて始めて吹奏楽部の生の演奏を聞いたとき、体中に響いてくる音の迫力に圧倒されました。そして、迷わず吹奏楽部に入学しました。その後、私の担当はフルートに決まりました。それから、自分でも驚くほどフルートに夢中になっていいますます。先日、そばで聞いていた友達から「うまくなったね。」と言いました。そのとき、音が出るまで苦労したけれど、あきらめずに続けていてよかったと思えました。今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。皆さんも中学校生活の中で、自分が全力で打ち込めることを探してみてください。きっと毎日が楽しく充実したものになるはずです。

一 下書きを読み直した松本さんは、親部「そばで聞いていた友達から「うまくなったね。」と言いました。」の部分の「友達から」と「言いました。」との言葉の関係が不適切なことに気付きました。本文中の推敲の仕方にならって、「言いました。」の部分を通順に書き直しなさい。

二 親部「今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。」には二つの内容が含まれています。意味を変えずに二つの文に分けて書きなさい。なお、二文めには「目標です。」に対応する主題を補いなさい。

1 出題の趣旨

文章を書く際に、次のことができるかどうかをみる。
 ・ 書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすること

ここでは、新入生に向けて書いた文章を推敲する場面を設定した。修飾語に合わせて述語を書き直すことと、二つの内容を含み分ける。りにくくなっている文を適切に二文に分けて書くことを求めている。

2 解説

設問一

■ 正答について

正答は、「友達から「うまくなったね。」と」「言われました」() のように解答しているものである。

文の内容を変えずに、「友達から」という修飾語に合わせて、述語を「言われました」と受け身の言い方に改める必要がある。また、「ほめられました」のように「言う」という動詞を適切な他の動詞に言い換えたものも正答とする。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 1
 一では、主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書くことができるかどうかをみる問題を出題している。

（正答率 五〇・八％）

設問二

■正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 意味は変えずに二つの文に適切に分けて書いている。
- ② 「目標です」に対応する主語を補って二文めを適切に書いている。

(正答例)

一文め ・ 今、私たちは全国大会出場に向けて練習しています。

二文め ・ 全国大会出場は、三年生にとって最大の（目標です。）

それは、三年生にとって最大の（目標です。）

——線部の文には、二つの内容が含まれており、「目標です」に対応する主語が分かりにくくなっている。これを、分かりやすい文章にするには、二文に分けるとともに「目標です」に対応する主語を補う必要がある。

なお、「目標です」に対応する主語については、例えば、次のものも正答とする。

・ 「全国大会は」のように、主語である「全国大会出場は」の一部を省略したもの

■誤答について

「■正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。

- ・ 「練習は」を主語としたもの
- ・ 「私たちは」を主語としたもの

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出题している。
(正答率 五七・九%)

【小学校 国語 A5】

5 次の の中の 部には、二つの内容がふくまれています。「こん」を主語にして、二つの文に分けて書きましょう。

「こんは、ひとりぼっちの小さつねで、しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。そして、夜でも昼でも、辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。」

(新美南吉「こんぎつね」による)

3 学習指導に当たって

文章の推敲は、表記や語句の用法を修正するだけではない。推敲の指導では、主述や修飾・被修飾など語句同士の関係、また、文や段落相互の関係などについても、整合性を点検させる必要がある。

そのためには、修正が必要な文章を示し、学級全体で検討することも有効である。その際、単に文章を修正するだけではなく、なぜ修正するのかという理由を明確に意識しながら、自分で読み返したりペアやグループで読み合ったりする学習活動につなげると効果的である。

また、選材や構成の段階で目的や相手について意識させたり、記述の段階で表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選ぶよう工夫させたりするなど、書く過程で随時立ち止まり、見直しながら書くようにさせることも大切である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

学習指導要領に示されている言語活動例	二	一	設問
	<p>書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることができかどうかをみる。</p>		出題の趣旨
報告や意見発表などのために簡潔で分かりやすい文章や資料などを作成すること。	<p>B 書くこと（第一学年） エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。《推敲》</p>		学習指導要領との関連
	書く能力		評価の観点
	一文め	二文め	<p>例 言われました</p>
	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> 今、私たちは全国大会出場に向けて練習しています。 	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会出場は、三年生にとって最大の（目標です。） それは、三年生にとって最大の（目標です。） 	

5 文学的な文章を読む

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ゆうぐれ、川原の土手の草のなかに、ぼんやりと寝ころんでいた。見あげる空が突きぬけてひろかった。川水の音を聞きながら、ぼくは考えた。空のふかきについて、そのふかきにももる時間について、時間のひとすみにもうこめく人間について。

そしたら思わず「嘘」がでて、ぼくというちっぽけな人間なんか、世にもつまらなく思われた。そこらにころがっている木の根っこと変わりがない。そんなふうにして、ぼくはたそがれてゆく空のかげりを長いあいだ眺めていた。このまま木の根っこになってしまえばよい。わざと、木の根っこふりして、じっとしていた。

ところが、やぶ蚊が一匹二匹と耳もどやうなり声を立てはじめた。スポンからはみでた足を喰われて、ぼくはもじもじと軀をうごかし、ほとんど木の根っこ状態を中止しようとした。すると頭のうえをヒユッと探めたものがある。うす間にさされて見えなくなったと思うと、またくるりと向きを変え、ぼくのうえをヒユッと通る。一匹の中型のヤンマだった。きつと蚊をとっているのだから、電光石火にジグザグのコースをとりながら、忙しくあたりを飛びまわっている。ぼくはじっと息をこらした。ヤンマをおどかさなように、ふたたび木の根っこ化したのだ。

そのうち、おどろいたことに、ぼくのまわりから蚊のうなり声はまったく聞こえなくなってしまう。みんなヤンマが食べてしまったのだらう。ヤンマはぼくの鼻先すれすれにヒュッと通りぬけたり、危うくぼくの腹にぶつかろうになつては翅音をたてて方向を変えたりした。それを見ていたら、ぼくはなんだか悲しくなってきた。ヤンマもやっぱり、ぼくのことを木の根っこのように扱ったからだ。ぼくはもじもじと身体を起こして、枯れ草のくっついたスポンをはたきながら立ちあがった。ヤンマはびっくりして、もちろんどこかへ消えて見えなくなった。

(注) ヤンマ＝大きいトンボの総称。

(北村天(1949)による)

1 線部「悲しくなってきた」とありますが、「ぼく」はなぜ「悲しくなってきた」のですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 やぶ蚊がヤンマに食べられてしまい、周りに何もいなくなつたと感じたから。
- 2 やぶ蚊すら捕まえることができない自分を役に立たないものと感じたから。
- 3 ヤンマからも自分はつまらないもののように扱われていると感じたから。
- 4 ヤンマの邪魔をしないようにしていたのに、おどかしてしまつたと感じたから。

2 この文章の表現の特徴として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 「ぼく」の体験や思いが「ぼく」自身が語る形で描かれており、気持ちの変化が想像しやすくなっている。
- 2 「ぼく」の考えや感じたことが会話を多く用いて描かれており、登場人物の関係が想像しやすくなっている。
- 3 「ぼく」の周りの出来事が「ぼく」の感情を交えずに描かれており、自然の厳しさが想像しやすくなっている。
- 4 「ぼく」の言動が「です」「ます」という言いねいな表現で描かれており、穏やかな雰囲気想像しやすくなっている。

1 出題の趣旨

- ・ 文学的な文章を読んで、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 文章の展開に即して内容をとらえ、登場人物の心情について考えること
- ・ 文章の特徴をとらえること

ここでは、小説を題材にして、登場人物の内面が変化していく部分を取り上げた。

人物の言動、場面の展開などに注意して内容をとらえ心情を考えると、文章の叙述の仕方に表れている特徴をとらえることを求めている。

2 解説

設問1

■ 正答について

正答は、選択肢3である。

——線部を含む文に続く文では、「ヤンマもやっぱり、ぼくのことを木の根っこのように扱ったからだ。」と、「ぼく」が「悲しくなってきた」理由が述べられている。

また、「ぼくというちっぽけな人間なんか、世にもつまらなく思われた。そこらにころがっている木の根っこと変わりがない。」とあるように、「木の根っこ」は、世にもつまらないものとして描かれている。

これらのことから、「ぼく」は、ヤンマからも「つまらないもののように扱われていると感じた」ということが分かる。

設問二

■正答について

正答は、選択肢1である。

本文は、「ぼく」の視点で描かれている。「ぼくというちっけな人間」、「世にもつまらなく思われた」、「悲しくなってきた」などが「ぼく」の独白という形で叙述され、「ぼく」の気持ち
が想像できる。

■誤答について

- (1) 選択肢2 ↓ 本文は、「ぼく」の独白であり、会話は用いられていない。
- (2) 選択肢3 ↓ 本文では、「つまらなく」、「悲しくなってきた」など、「ぼく」の感情が描かれている。
- (3) 選択肢4 ↓ 本文は、常体(だ・である)で描かれている。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A ③
 三では、本文の表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題を出題している。
 (正答率 八四・六%)

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。
 (正答率 六三・三%)

【小学校 国語A 10】

10 次の文章は、ある物語の一部です。この物語の中で、主人公のローワンは自分たちの住んでいるリンの村を救う者として選ばれました。ローワンは、村人が自分をどのように見ていると感じていますか。もつともふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(エミリー・ロッダ「ローワンと魔法の地図」による)

(エミリー・ロッダ「ローワンと魔法の地図」による)

- 1 村人は、ぼくが一人でさびしく生きていくことに耐えられないだろうと見ている。
- 2 村人は、村でいちばんいくじのないぼくが選ばれたことをかわいそうだと見ている。
- 3 村人は、ぼくが困っている村人を思いやることのできる強い心をもっていると見ている。
- 4 村人は、ぼくが村の子なのだから村を救うものとして選ばれるのは当然だと見ている。

3 学習指導に当たって

- (1) 文学的な文章を読む際には、登場人物の言動や心情などとともに、その言動や心情が変化するきっかけにも着目させることが大切である。それらを整理して読み進めることにより、内容をより深く理解させ、味わわせることができる。
- (2) 文学的な文章を読む際には、文章の特徴に着目させることも大切である。文章の特徴に着目させることは、作者の意図や表現の効果を考えることにつながり、内容をより一層深く理解させることができる。

4 出典等

北杜夫「少年」(『牧神の午後・少年』(北杜夫全集1) 昭和五十二年一月 新潮社) による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	文章の展開に即して内容をとらえ、登場人物の心情について考えることができるかどうかをみる。	<p>C 読むこと(第一学年)</p> <p>イ 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。</p> <p>《内容把握や要約》</p>	読む能力	<p>3 ヤンマからも自分はずまらないもののように扱われていると感じたから。</p>
二	文章の特徴をとらえることができるかどうかをみる。	<p>C 読むこと(第二学年及び第三学年)</p> <p>ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。</p> <p>《表現の仕方》</p>		<p>1 「ぼく」の体験や思いが「ぼく」自身が語る形で描かれており、気持ちの変化が想像しやすくなっている。</p>

6 詩と解説文を読む

6 次は、「生徒が作った詩」と、その詩について生徒自身が書いた【解説文】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【生徒が作った詩】

はじめりの朝
木の葉のすき間からこぼれる光
音をたてて聞くつばみ
さまざまなかおどる通学路
とまどきしながらくぐる校門
「今年も一緒のクラスだよ」
見上げた教室の窓から
笑顔が私を見つめている
新学期の朝に見つけた春とともに
その一言が私をあたたかくしてくれた

9 8 7 6 5 4 3 2 1
行の番号

【解説文】

「はじめりの朝」は、新学年が始まる日の朝の様子と、そのときの気持ちを書き表した詩です。これから始まる新学年への気持ちの高まりを表すために、書き方を工夫していました。例えば、「音をたてて聞くつばみ」という部分では、開花する様子を「音をたてて」と表して、力強さや勢いをイメージしやすくしました。また、「行末を名詞で終わらせたのは、登校する朝の様子をよく表現しなかったからです。登校中に会ったものはみんな、私の心をあたたかくしてくれました。でも、何よりもあたたかさを感じたのは、私に呼びかけてくれた友達言葉でした。」

一 【解説文】の中に「線部」「行末を名詞で終わらせたのは、登校する朝の様子をテンポよく表現しなかったからです」とありますが、「行末を名詞で終わらせた」行を、行の番号1から9までの中からすべて選びなさい。

二 【解説文】の中に「線部」「友達」とありますが、「生徒が作った詩」では「友達」のことを別の言葉で表現しています。その言葉を「生徒が作った詩」の中から漢字二字で探し、抜き出さなさい。

1 出題の趣旨

- 詩とその解説文を読んで、次のことができるかどうかをみる。
- 表現の仕方に注意し、その効果を考えること
- 文脈の中における語句の意味を理解すること

ここでは、生徒が創作した詩とその解説文とを合わせて読む場面を設定した。

【解説文】で述べている工夫に該当する部分を詩の中から見付けることと、【解説文】を参考にして【生徒が作った詩】の中の言葉の文脈上の意味を理解することとを求めている。

2 解説

設問一

■正答について
正答は、【生徒が作った詩】の行の番号1、2、3、4である。

設問二

■正答について
正答は、「笑顔」と解答しているものである。
【解説文】にある「私に呼びかけてくれた」に当たる場面は、【生徒が作った詩】の行の番号5、6、7である。「私を見つめている」のは「笑顔」であり、「私に呼びかけてくれた」のは「友達」である。そのことから「笑顔」は「友達」を言い換えたものであることが分かる。

■誤答について

【解説文】から、【生徒が作った詩】が書き方を工夫してい

ることは分かるが、漢字二字の語のうち、「笑顔」以外には比喩的ない言換えという工夫は見られない。例えば、「一言」(「その一言が私をあたたかくしてくれた」)は事実関係の説明であり、「友達」のことを別の言葉で表現したものではない。

3 学習指導に当たって

- (1) 詩を読み味わう際には、表現の仕方や文章の特徴に注意して読ませることが大切である。文脈における語句の効果的な使い方について理解することで、詩を深く読み味わったり、自分の言葉の使い方に役立てたりすることができる。
- (2) 詩を創作するだけにとどまらず、その解説文を書くという学習活動を行うことは、自分の表現の仕方を見直すことにつながる。創作した詩やその解説文をもとに、表現の仕方について意見交換を行う場を設けることも大切である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	表現の仕方に注意し、その効果を考 えることができるかどうかをみる。	C 読むこと(第二学年及び第三学年) ウ 表現の仕方や文章の特徴に注 意して読むこと。《表現の仕方》	読む能力	1 (木の葉のすき間からこぼれる光) (音をたてて開くつばみ) 2 (さまざまな色がおどる通学路) 3 (さまざまな色がおどる通学路) 4 (どきどきしながらくぐる校門)
二	文脈の中における語句の意味を理解 することができるかどうかをみる。	C 読むこと(第一学年) ア 文脈の中における語句の意味 を正確にとらえ、理解すること。 《語句の意味や用法》		笑顔

7 話し合いをする

7 山川さんの学級では、文化祭で何を発表するかを話し合っています。次の話し合いの様子を読んで、あとの問いに答えなさい。

文化祭のテーマは「世界とつながる私たちの町」です。私たちの町と世界とのつながりについて、クラスで発表する内容を決めます。班ごとに話し合ったことを提案してください。

一班では、友好関係がある海外のS市と私たちの町との交流の歴史を調べて発表するという案が出ました。

二班では、私たちの町の名産品である織物の輸出先を調べて発表するという案が出ました。

三班では、世界の七不思議を調べて、それぞれの内容について発表するという案が出ました。

司会

一班の代表 二班の代表 三班の代表

その提案は、テーマとの関係がよく分らないな。よし、質問してみよう。

山川さん

林さん

これからの交流について、S市の中学生と意見交換したらどうかかな……

一 山川さんは、提案の中に、テーマとの関係がよく分らないものがあることに気付き、提案者に質問することになりました。山川さんがしようとしている質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二班の代表に、織物が輸出されている国々を調べる方法について質問する。
- 2 二班の代表に、私たちの町の名産品にはどのようなものがあるのか質問する。
- 3 三班の代表に、世界の七不思議のなぞを解き明かす方法について質問する。
- 4 三班の代表に、私たちの町と世界の七不思議とのつながりについて質問する。

二 各班の提案を聞いていた林さんは、「これからの交流について、S市の中学生と意見交換もしてはどうでしょうか。」という意見を言おうと考えました。その発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしますか。次の1から4までのうち、最も適切なもの一つを選びなさい。

- 1 一班的提案は実現が困難であることを指摘する役割。
- 2 一班的提案に付け加えて新たな内容を提案する役割。
- 3 一班的提案と他の班的提案との優れた点を比較する役割。
- 4 一班的提案について対立する立場から批判する役割。

1 出題の趣旨

- 話し合いをする際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 目的に沿った話し合いになるように、適切に質問すること
 - ・ 話し合いを効果的に展開させる発言の役割について理解すること

ここでは、文化祭での発表の内容を決めることを題材にして、各班からの提案をもとに学級全体で話し合いを進める場面を設定した。テーマとの関連を考えながら提案を聞いて疑問点を質問することと、話し合いが効果的に展開するよう意見を述べることを求めている。

2 解説

設問一

■正答について

正答は、選択肢4である。

三班の提案では「世界の七不思議」と「私たちの町」との関係がよく分らないため、「世界とつながる私たちの町」という文化祭のテーマとの関係を確認する必要がある。

■誤答について

- (1) 選択肢1↓二班の提案は、織物を通して「私たちの町」と「輸出先」とのかかわりについて調べるといふものであり、話し合いのテーマとの関係は明らかである。
- (2) 選択肢2↓二班の提案の内容に含まれている事柄を問うものであり、二班の提案自体は話し合いのテーマとの関係は明らかである。
- (3) 選択肢3↓三班の内容に含まれている事柄を問うものである。

り、「世界とつながる私たちの町」というテーマとの関係について問うものではない。

3 学習指導に当たって

設問一

■正答について

正答は、選択肢2である。

林さんの発言は、一班が提案している「交流の歴史を調べて発表する」ことに加え、「これからの交流について、S市の中学生と意見交換もしたらどうか」という新たな内容を提案するものである。

- (1) 話し合いをする際には、目的に沿った話し合いになるよう指導する必要がある。そのためには、お互いの発言に対して、その意図や理由が不明確な場合は、質問をしたり確認をしたりするなど、テーマとの関係を考えさせながら話し合いが効果的に展開するよう指導することが重要である。
- (2) 話し合いを効果的に進めるためには、話し合いの話題や方向をとらえて自分の考えをまとめ、新たな視点から提案するなど、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うよう指導することが大切である。また、パネルディスカッションなどのように、異なる立場の意見を聞いて自分の考えを深めていくことができる学習活動を工夫する必要がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	目的に沿った話し合いになるように、適切に質問することができるかどうかをみる。	A 話すこと・聞くこと (第二学年及び第三学年) エ 相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。《話し合い》	話す・聞く能力	4 三班の代表に、私たちの町と世界の七不思議とのつながりについて質問する。
二	話し合いを効果的に展開させる発言の役割について理解することができるかどうかをみる。			2 一班の提案に付け加えて新たな内容を提案する役割。
学習指導要領に示されている言語活動例		対話や討論などを行うこと。		

8 随筆を読む

8 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

四、五日前のことである。私は調べものが必要があつて、古い新聞の切り抜きを探し出した。そして、用が済んだので、丸めて捨てる前に裏にも目を通した。すると、そこにカモノハシに関する記事が載っていたのである。

御承知の通り、カモノハシはオーストラリアにしかない珍獣で、だから私この目で見たわけではない。どこかの動物園で見たような気がしているのは、絵本か写真で見てそんな気がしているのだから。あるいは、用紙かなにかと混同しているのかもしれない。

動物学者の説明によると、——カモノハシの口は文字通り鴨の嘴で、くちばしである。しかし、鳥とは違う。足が四本である。ところが、その足には水かきが付いていて、だから鴨に似ているのである。しかし、身体は羽毛でなくて、獣毛で被われている。(私は子供の頃、近くの海岸で漁師の網にかかったアザラシの仔の背中を撫でたことがあるが、あんな感懐がしらと思う)ところが、カモノハシは卵を生む。しかし、卵からかえった仔は乳で育てるのである。だから、哺乳類の仲間である。ところが、単孔類ないし一穴目と称されるように、大、小便と卵の出る所が同じという仕組みで、だから鳥とおなじである。……

言われてみれば、なるほど「けつたいな動物である。それは、右の私の短い文章で「しかし」と「ところが」と「だから」を三回ずつも使わなくてはならなかったのを見てもわかる通りである。一般に、複雑なことを正確に説明しようとするれば、このようにひどい文章になることも避けられないのである。

(注) けつたい 奇妙なさま、不思議なさま、不思議なさま

【同】部 題 「単純な生活」による

一 縦部「鳥とは違う」とありますが、ここでのいう「鳥とは違う」カモノハシの特徴を、次の1から6までの中から3つ選びなさい。

- 1 足が四本であること。
- 2 足に水かきが付いていること。
- 3 身体は獣毛で被われていること。
- 4 卵を生むこと。
- 5 仔は乳で育てること。
- 6 大、小便と卵の出る所が同じということ。

二 縦部「ひどい文章」とありますが、筆者は、この文章のどのような点について「ひどい文章」と述べていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 短い文章の中で、順接や接続の接続詞を何度も繰り返して使用した点。
- 2 図や写真などの資料を用いずに、文章のみで動物の特徴を説明した点。
- 3 対立する考えを、文章の途中に括弧()を用いて記入した点。
- 4 実際に見たことのないものを説明するために、新聞記事を引用した点。

1 出題の趣旨

- ・ 文章を読む際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 論理の展開の仕方をとらえて、内容を理解すること
- ・ 文章の展開に即して内容を理解すること

ここでは、カモノハシという生物の特徴について論理的に説明する部分を含んだ文章を取り上げた。

接続詞に注意し、論理の展開の仕方をとらえてカモノハシの特徴を整理することと、文章の展開に即して筆者の述べたいことを的確に理解することとを求めている。

2 解説

設問一

■ 正答について

正答は、選択肢1、3、5である。

筆者は、「動物学者の説明による」として、カモノハシの、鳥とは違う特徴と鳥と同じ特徴とを分けて述べている。これを整理すると、次ページの表のようになる。

鳥とは違う特徴（正答）	鳥と同じ特徴（誤答）
1 足が四本であること。	2 足に水かきが付いていること。 「カモノハシの口は文字通り鴨の嘴で、くちばしである」
3 身体は獣毛で被われていること。	4 卵を生むこと。 「鴨に似ている」
5 仔は乳で育てること。 「哺乳類の仲間」	6 大、小便と卵の出る所が同じということ。 「鳥とおんなじ」

設問二

■正答について

正答は、選択肢1である。

線部を含む文には、「ひどい文章」となった理由として、複雑なことを正確に説明しようとしたことが述べられている。筆者が正確に説明しようとしたことは、カモノハシの特徴についてである。カモノハシの特徴を説明した部分では、上の表にも示したとおり順接や逆接の接続詞が多用されており、筆者も本文中で「私の短い文章で『しかし』と『ところが』と『だから』を三回ずつも使わなくてはならなかったのを見てもわかる通りである」と述べている。

■誤答について

- (1) 選択肢2 ↓本文中に図や写真などの資料は用いられていないが、文章のみで動物の特徴を説明したために「ひどい文章」になったとは、筆者は述べていない。
- (2) 選択肢3 ↓本文中に括弧（ ）は用いられているが、そこに書かれているのは対立する考えではなく、補足するための説明である。
- (3) 選択肢4 ↓「古い新聞の切り抜き」は、カモノハシについて考えるきっかけを筆者に与えたものであり、本文中に新聞記事を引用した部分はない。

3 学習指導に当たって

- (1) 文章の内容を正確に理解させるには、論理の展開の仕方を的確にとらえながら読むよう指導する必要がある。その際、接続詞や指示語などに注意し、内容のつながりを考えながら読み進めることが大切である。書かれている内容について箇条書きや表などにまとめる学習活動も有効である。
- (2) 論理の展開の仕方を自分の表現に役立てていくためには、様々な種類の文章や表現に触れる機会を意図的・計画的に設けることが大切である。複雑な事象や抽象的な概念などについて説明する文章を読む際には、内容だけでなく、説明の仕方に注意して読むよう指導する必要がある。その説明の仕方を自分の考えを述べる際に使うことにより、論理的に表現する能力、適切に表現する能力を育成することができる。

4 出典等

阿部昭^{あべあきら}「単純な生活」〔阿部昭集第六巻〕平成三年十月
岩波書店)による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	論理の展開の仕方をとらえて、内容を理解することができるかどうかをみる。	<p>C 読むこと(第二学年及び第三学年)</p> <p>イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。 《構成や展開》</p>	読む能力	<p>1 足が四本であること。</p> <p>3 身体は獣毛で被われていること。</p> <p>5 仔は乳で育てること。</p>
二	文章の展開に即して内容を理解することができるかどうかをみる。	<p>C 読むこと(第一学年)</p> <p>イ 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。《内容把握や要約》</p>		<p>1 短い文章の中で、順接や逆接の接続詞を何度も繰り返し使った点。</p>

9 案内文を書く

9 第一中学校では、生徒会主催の地域清掃活動を行う予定です。次は、生徒会が作成している「案内文A」と「案内文B」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【案内文A】(地域の方々に向けて作成しているもの)

平成22年4月20日
地域の皆様
第一中学校生徒会

地域清掃活動のお願い

春風のさわやかな季節になりました。皆様、いかがお過ごしですか。

さて、第一中学校では、第二小学校にも呼びかけて、下記のとおり、地域清掃を行います。

ご多用のことと思いますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 5月16日(日)午前8時から午前10時
2. 会場 第二小学校及び第一中学校周辺
3. 内容 ゴミ拾いや草取り
4. その他 第一中学校正門前にお集まりください。清掃用具は、当日お配りします。雨天の場合は中止にします。

一 「ア」と「イ」には、【案内文A】、【案内文B】とも同じ項目名が入ります。それぞれ漢字二文字で書きなさい。

【案内文B】(第二小学校の5・6年生に向けて作成しているもの)

平成22年4月20日
第二小学校5・6年生のみなさん
第一中学校生徒会

地域清掃活動のお願い

新学期が始まって2週間がたちました。みなさん、元気ががんばっていますか。

さて、第一中学校では、次のとおり、第二小学校のみなさんといっしょに地域のそうじをしたいと思います。

~~~~~

1. 日時 5月16日(日)午前8時から午前10時  
2. 会場 第二小学校と第一中学校の周辺  
3. 内容 ゴミ拾いや草取り  
4. その他 第一中学校正門前に集まってください。そうじ用具は、当日配ります。雨があつた場合は中止にします。

二 【案内文B】は、小学生に向けて書いています。【案内文A】を参考にして、【案内文B】に入る一文を書きなさい。

1 出題の趣旨

- 案内文を書く際に、次のことができるかどうかをみる。
- 伝えるべき内容について整理して書くこと
- 相手に応じて表現を工夫して書くこと

ここでは、生徒会主催の地域清掃活動を題材にして、地域の人と小学生という異なる相手に向けて案内文を書く場面を設定した。「日時」や「場所」などの案内文に必要な項目について理解すること、相手に応じた適切な表現で公的な案内文を書くことを求めている。

2 解説

設問一 ア

■正答について  
正答は、「日時」のように解答しているものである。

設問一 イ

■正答について  
正答は、「場所」のように解答しているものである。

設問二

- 正答について
- 正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。
- 小学生に向けた公的な文章として、適切な表現で書いている。
  - 【案内文A】の内容を参考にして書いている。
  - 一文で書いている。

(正答例)

- ・ 用事もあると思いますが、ぜひ参加をお願いします。
- ・ ぜひ参加をお願いします。

【案内文A】では、大人に向けた言葉遣いで参加を依頼する内容が書かれている。これを小学生向けに書くためには、【案内文B】で用いている文体に合わせて書く必要がある。

また、小学生向けの案内文であることから、「ご多用のことと思いますが」に相当する部分を省略したのも正答とする。

#### ■誤答について

「■正答について」に示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

- ・ 誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。
- ・ 話し言葉で書いているもの
- ・ 文体や敬語などが不適切なもの
- ・ 不必要な内容を付加したもの

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出题している。

(正答率 七七・二%)

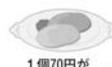
#### 【小学校 国語B 4二】

4

次は、今村さんの家に配られたお店のちらしです。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

スーパーマーケット★まちかど★  
営業時間 午前8時～午後8時

**お客様感謝セール**  
5月12日(土)・13日(日)の2日間!!

|                                                                                                                   |                                                                                                                                     |                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| おにぎり<br><br>110円が <b>80円</b>   | サンドイッチ<br><br><b>半額</b>                          | ショートケーキ<br><br><b>20%引き</b>                                    |
| クリームパン<br><br>150円が <b>98円</b> | いちご1パック<br><br>(お一人様1パック限り)<br>30%引き <b>294円</b> | コロケ<br><br>1個70円が<br>2個で <b>100円</b><br><small>(消費税込み)</small> |

セール期間中(12日・13日とも)  
食パンを100名様にプレゼント

 **みなさん、おいで** 

一 (略)

二 ちらしの中にある「みなさん、おいで」という表現は、店長の立場でお客様に対して使う表現としてふさわしくありません。ふさわしい表現にするために「みなさん」の書き出しに続けて、一文で書き直しましょう。

### 3 学習指導に当たって

行事の案内などの実用的な文章は、伝えるべき内容を相手や目的に応じて簡潔に分かりやすく書くことが大切である。

指導に当たっては、まず文章の形式について理解させる必要がある。それを踏まえ、例えば、案内文を書く際には、「日時」、「場所」など一般的な事柄に加え、それぞれの文章が伝えたい内容に応じた必要な事柄を過不足なく取り上げるようにすることが大切である。

また、相手や目的に応じた適切な表現を考えさせるためには、様々な相手を想定して、それにふさわしい表現で案内文を作成する学習を取り入れることも大切である。

#### 《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問                 | 出題の趣旨                                                                                       |                                               | 学習指導要領との関連                                                                   | 評価の観点 | 正答                 |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------|
|                    | 一                                                                                           | 二                                             |                                                                              |       |                    |
| 学習指導要領に示されている言語活動例 | <p>一</p> <p>イ ア</p> <p>伝えるべき内容について整理して書くことができるかどうかをみる。</p>                                  | <p>二</p> <p>相手に応じて表現を工夫して書くことができるかどうかをみる。</p> | <p>B 書くこと（第一学年）</p> <p>イ 伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。</p> <p>《事柄や意見》</p> | 書く能力  | <p>例</p> <p>日時</p> |
|                    | <p>B 書くこと（第二学年及び第三学年）</p> <p>エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。</p> <p>《記述》</p> | <p>例</p> <p>場所</p>                            | <p>例</p> <p>・ 用事もあると思いますが、ぜひ参加をお願いします。</p> <p>・ ぜひ参加をお願いします。</p>             |       |                    |
| 手紙や感想などの文章を書くこと。   |                                                                                             |                                               |                                                                              |       |                    |



**10** 言語事項等

10 次の1から8までの各問いに答えなさい。

1 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

- 1 先生にソウゲンする。
- 2 コウシキを使って面積を求める。
- 3 鏡にスガタをうつす。

2 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

- 1 物語の冒頭を読む。
- 2 衝撃を受ける。
- 3 調べたことから結論を導く。

3 次のアからオの文では、( )の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

- ア 物質が変化していく(1) 家庭 2 仮定 3 過程 4 課程)を調べる。  
 イ 会議で決を(1) 執る 2 撮る 3 捕る 4 採る)。  
 ウ わたしが健康になったのは、(1) ひとえに 2 ほのかに 3 いちずに 4 むやみに)母のおかげです。  
 エ 参観日には父が学校へ来ると(1) 申して 2 おっしゃって 3 話されて 4 申されて)おりました。  
 オ 兄は困っている人を見るとほうっておけない(1) 品格 2 資質 3 性分 4 器量)だ。

4 次の1と2で、アとイの文が同じような意味を表すように、イの文の( )に当てはまるひらがな一字をそれぞれ書きなさい。

- 1 ア 約束を守ることが大切だということを、彼は身をもって教えてくれた。  
 イ 約束を守ることが大切( )を、彼は身をもって教えてくれた。
- 2 ア チームの全員が望んでいるのは、彼に一刻も早く復帰してほしいということだ。  
 イ チームの全員が望んでいるのは、彼( )一刻も早い復帰だ。

**1** 出題の趣旨

言語や言語文化に関する知識・技能を身に付け、文や文章の中で適切に用いることができるかどうかをみる。

ここでは、学習指導要領の「言語事項」(1)から(3)の内容等について

て幅広く出題した。  
 漢字の読み書き、語句や語彙、言葉のきまり、言語生活、書写に関する基礎的・基本的な事項を身に付け、適切に用いることを求めている。

**2** 解説

設問一 から 設問三 についての正答及び解説は、次ページの表中に示した。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。

設問一 (1) (正答率 九五・二%)  
 設問二 (2) (正答率 五八・三%)

【小学校 国語 A 1】

- 1 次の(1)から(3)の文の——部の漢字をひらがなに直して書きましょう。
- (1) リーダーとして勝利に 導く。 (2) (3) (略)
- 2 次の(1)から(3)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。
- (1) (略)
  - (2) 先生に そうだん する。
  - (3) (略)

設問四 1

■正答について

正答は、「さ」と解答しているものである。

設問四 2

■正答について

正答は、「の」と解答しているものである。



五 次のA、Bそれぞれの三つの漢字は、部首が同じで、意味の上でも共通点があります。A、Bそれぞれの共通点の説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。

A  
情 慣 快

B  
室 宅 宿

- 1 土地の形状に関連する意味を表す。
- 2 心の動きに関連する意味を表す。
- 3 建物や部屋に関連する意味を表す。
- 4 言葉を使った活動に関連する意味を表す。

六 長島さんは、家の人から「試験の直前になって勉強を始めるのは、「泥棒を捕らえて縄を拘う」ようなものだ。」と言われました。家の人がこの言葉には、どのような思いが込められていると思いますか。次の【国語辞典に載っていた意味】を参考に、最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【国語辞典に載っていた意味】

泥棒を捕らえて縄を拘う (泥棒を捕まえてから泥棒を縛るための縄を作るように) 日ごろから準備をしないで、事件が起きてからあわてて対策を立てること。

- 1 人にはそれぞれ長所があるのだから、その長所を生かした方法を考えることが大切だという思い。
- 2 どんなことでも計画どおりに進むとは限らないので、計画に縛られないことが大切だという思い。
- 3 あせって物事に取り組みと必ず失敗するので、落ち着いて慎重に対処することが大切だという思い。
- 4 何かあったときに困らないように、そのための用意を前もっておくことが大切だという思い。

七 次の「草」という漢字を「楷書」と「行書」で書いたものです。この二つの「違いを述べた文」の(ア)～(イ)に当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。



【楷書】

【行書】

【違いを述べた文】  
【行書】の場合、【楷書】の(1)に当たる部分には、点画の(ア)が見られ、(2)に当たる部分では、(イ)も異なっている。

- 1 ア 省略 イ 筆順
- 2 ア 省略 イ 部首
- 3 ア 連続 イ 筆順
- 4 ア 連続 イ 部首

八 村田さんは、連絡板に書いた(ア)を、先生の助言をもとに(イ)のように直しました。助言の中は、「連絡板全体を使ってバランスよく書くこと」という内容がありました。このほかどのような助言を受けたと考えられますか。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

【ア】  
連絡板



【イ】  
連絡板



- 1 文字の大きさを同じにし、すべての行と行との間をそろえて書くこと。
- 2 文字の大きさや書き始めの位置を、見出しと内容とで変えて書くこと。
- 3 文字の大きさや書き終わりの位置を、すべての行でそろえて書くこと。
- 4 文字の大きさを変え、見出しの上下に余白を作らないように書くこと。

### 設問五 A

#### ■ 正答について

正答は、選択肢2である。  
三つの漢字に共通する部首は、「りっしんべん」である。  
「情」は「思いやり」、「慣」は「なれる」、「快」は「気持ちが良い」という意味をもつ漢字であり、「心の動きに関連する意味を表す」という点で共通している。

### 設問五 B

#### ■ 正答について

正答は、選択肢3である。  
三つの漢字に共通する部首は、「うかんむり」である。  
「室」は「部屋」、「宅」は「住まい」、「宿」は「寝泊まりするところ」という意味をもつ漢字であり、「建物や部屋に関連する意味を表す」という点で共通している。

#### ■ 誤答について

- 1 選択肢1 ↓ 「土地の形状に関連する意味を表す」部首は、「こざとへん」である。(「陸」、「隆」など。)
- 2 選択肢4 ↓ 「言葉を使った活動に関連する意味を表す」部首は、「ごんべん」である。(「話」、「記」など。)

### 設問六

#### ■ 正答について

正答は、選択肢4である。  
試験の直前になって勉強を始めたという表現から、長島さんが試験の準備をしていなかったことが分かる。家の人は、そのことを指して「泥棒を捕らえて縄を綱なわう」を用い、「用意を前もってしておくことが大切だ」ということを伝えようとしている。

#### ■ 誤答について

- 1 選択肢1 ↓ 「それぞれ(中略)その長所を生かした方法を考えることが大切だ」という意味を伝えたい場合に使う表現としては、「適材適所」などがある。
- 2 選択肢2 ↓ 「計画に縛られないことが大切だ」という意味を伝えたい場合に使う表現としては、「臨機応変」などがある。
- 3 選択肢3 ↓ 「あせって物事に(中略)落ち着いて慎重に対処することが大切だ」という意味を伝えたい場合に使う表現としては、「急がば回れ」などがある。

### 設問七

#### ■ 正答について

正答は、選択肢3である。  
「草」という漢字の【行書】では、【楷書】の①に当たる部分の「くさかんむり」と「日」という部分に横画をつなぐ連続した線があることから、アでは「連続」を選択することになる。  
②に当たる部分では、「くさかんむり」の横画が【楷書】では第一画になるのに対して、【行書】では第三画となり、イでは「筆順」を選択することになる。

※ 平成二十年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A⑥四  
では、漢字の楷書と行書の違いを理解しているかどうかをみる  
問題を出題している。(正答率 八〇・三%)

## 設問八

### ■正答について

正答は、選択肢2である。

【A】は、文字の大きさや書き始めがすべてそろっており、見出しとその内容との区別が不明瞭である。この【A】について、「連絡板全体を使ってバランスよく書くこと」という先生の助言があることを踏まえ、内容に応じて、文字の大きさや書き始めの位置を変えて書くという点に着目する必要がある。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 8 五  
では、文字の大きさや配列・配置を考えて書くことができるかどうかをみる問題を出題している。 (正答率 八三・九%)

※ 平成二十年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 6 五  
では、配列・配置に注意して書くことができるかどうかをみる問題を出題している。 (正答率 四五・八%)

## 3 学習指導に当たって

- (1) 漢字は、一字一字を正確に読み書きできるようにするだけでなく、語や語句として理解し、文脈に即して使えるようにすることが大切である。そのためには、実際に漢字を読んだり書いたりする機会を多くして、習熟を図るようにすることが求められる。また、「へん」や「つくり」に注目して共通点を探るなど、学習した漢字について改めて考える学習活動を取り入れることも、漢字についての関心を高める上で効果的である。
- (2) 語句・語彙の指導に当たっては、語句の辞書的な意味を踏まえ、話や文脈の中での意味をとらえさせる必要がある。語感を磨き、語彙を豊かにするためには、類義語を取り上げ相手や場面に応じて使い分けたり、同音異義語を取り上げその意味の違いについて考えたりといった学習活動が有効である。

- (3) 言葉のきまりについては知識として理解しているだけではなく、日常生活の中で使えるようにする必要がある。例えば、文字数を制限して、伝えたい内容を変えずに短く書き直したり、同じ内容を違った表現で言い換えたりすることなどを、実際の使用場面を取り上げて指導することが大切である。その際、書くことの指導との関連を図ると効果的である。

- (4) 行書の基礎を学習する段階では、同じ文字の楷書と行書とを比較させ、筆順や運筆などの違いについて考えさせるとともに、それらを生かして行書で書くといった学習活動が効果的である。また、学校生活の様々な場面において、全体のバランスを考えたり内容に応じた見出しの書き方を工夫したりするなど、意識的に書写の学習成果を生かすよう指導する必要がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 八                                                                         | 七                                                                         | 六                                                                | 五                                                                                                      |                                                                                                        | 設問                |
|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                                                           |                                                                           |                                                                  | B                                                                                                      | A                                                                                                      | 出題の趣旨             |
| <p>目的に応じて、文字の大きさや配列・配置に気を付けて書くことができるかどうかをみる。</p>                          | <p>漢字の楷書と行書との違いを理解することができるかどうかをみる。</p>                                    | <p>辞書を活用して、ことわざの文脈における意味を理解することができるかどうかをみる。</p>                  | <p>漢字の成り立ちについて理解することができるかどうかをみる。</p>                                                                   | <p>漢字の成り立ちについて理解することができるかどうかをみる。</p>                                                                   | <p>出題の趣旨</p>      |
| <p>言語事項(3)(第二学年及び第三学年)<br/>ア 字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮し、目的や必要に応じて調和よく書くこと。</p> | <p>言語事項(3)(第一学年)<br/>イ 漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。</p> | <p>言語事項(1)(第一学年)<br/>イ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意すること。<br/>《語句》</p> | <p>言語事項(2)(第一学年)<br/>ア 小学校学習指導要領第二章第一節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち二五〇字程度から三〇〇字程度までの漢字を読むこと。</p> | <p>言語事項(2)(第一学年)<br/>ア 小学校学習指導要領第二章第一節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち二五〇字程度から三〇〇字程度までの漢字を読むこと。</p> | <p>学習指導要領との関連</p> |
|                                                                           |                                                                           |                                                                  |                                                                                                        |                                                                                                        | <p>評価の観点</p>      |
|                                                                           |                                                                           |                                                                  |                                                                                                        |                                                                                                        | <p>正答</p>         |
| <p>2 文字の大きさや書き始めの位置を、見出しと内容とで変えて書くこと。</p>                                 | <p>3 ア 連続<br/>イ 筆順</p>                                                    | <p>4 何かあったときに困らないように、そのための用意を前もってしておくことが大切だという思い。</p>            | <p>3 建物や部屋に関連する意味を表す。</p>                                                                              | <p>2 心の動きに関連する意味を表す。</p>                                                                               |                   |

《参考》過去の調査における正答率\*

| 三            |               |              |              | 二            |              | 一            |              | 設問           | 実施年度（実施学年）          | 正答率（%） |
|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------------|--------|
| エ            | ウ             | イ            | ア            | 2            |              | 3            | 2            |              |                     |        |
| 申して          | ひとえに          | 採る           | 過程           | 衝撃           |              | 姿            | 公式           | 相談           | 平成十九年度<br>（小学校第六学年） | 五八・三   |
| 平成十五年度（第三学年） | 昭和三十七年度（第三学年） | 平成十五年度（第三学年） | 平成十五年度（第二学年） | 平成十六年度（第三学年） | 平成十六年度（第二学年） | 平成十六年度（第二学年） | 平成十六年度（第一学年） | 平成十六年度（第一学年） |                     | 六一・〇   |
| 七一・五         | 五三・七          | 五二・一         | 八〇・六         | 九四・四         | 九一・一         | 七七・六         |              |              |                     |        |

※過去の調査

昭和三十七年度全国中学校学力調査

平成十五年度小・中学校教育課程実施状況調査

平成十六年度特定の課題に関する調査

平成十九年度全国学力・学習状況調査【小学校】

## 調査問題の解説

### B 主として「活用」に関する問題

# 全国新聞

2009年(平成21年) 6月20日 土曜日  
政治 4面  
国際 7面  
経済 9・11面  
スポーツ 16面  
文化 20面  
地域 26・27面

## 今も色あせない魅力

### 太宰治生誕100年

「走れメロス」「人間失格」などの作品を残した作家・太宰治(1909～48)が、昨日19日で生誕100年を迎えた。各地で様々な催しが行われる中、太宰ゆかりの地、東京都・鷹市には、全国から多くのファンが訪れ、何年たっても色あせることのない太宰の魅力改めて浮き彫りにした形となった。(関連記事20面)



「太宰治文学サロン」を訪れ、説明を聞く来館者

名したのは太宰と同郷で青森県出身の直木賞作家・今宮一。太宰の作品「桜桃」にちなんで付けたとされ、今年で61回目を迎えた。太宰にゆかりのある各地には、今年も多くのファンが集まった。友人と一緒に太宰の墓のある禅林寺(三鷹市下連雀)を訪れた千原県の会社員(33)は、中学生のときに走れメロスを読んで、米の太宰ファン。弱さを隠さない純粋さが最大の魅力。今もお新しい発見がある」と語った。

「走れメロス」「人間失格」などの作品を残した作家・太宰治(1909～48)が、昨日19日で生誕100年を迎えた。各地で様々な催しが行われる中、太宰ゆかりの地、東京都・鷹市には、全国から多くのファンが訪れ、何年たっても色あせることのない太宰の魅力改めて浮き彫りにした形となった。(関連記事20面)

「弁当の日」という取り組みが全国の学校に広がっている。香川県のある小学校では、5・6年生の児童が、年5回自分たちだけで作った弁当を食べ、ここでのおねいは、子どもの「自立」。自分の食べるものを自分で作ることを通

## 広がる「食育」

して生まれる自信や、多くの人のおかげで食事をするのができるのだという気持ち。自立につなげる考え、全国的に見ると、学校給食に地域食を積極的に取り入れ、伝統的な郷土料理を献立に盛り込んだり、これも広く行われている。これは地域の産業に対する理解を促し、伝統的な食文化を継承

## コラム

最近、文学作品を身近に感じさせる動きが盛んだ。文庫本のカバー一つ一つをみて、人

気漫画家によるイラストや、芸能人の写真がデザインされているものがあり、文学ファンでなくても思わず手に取りたくなる。横書きで書かれた小説や電子書籍の売れ行きも好調である。今、始まったことではないが、いわゆる名作を漫画化したものが売れている現実も見逃せない。▼こうした動きは、特に若い世代に向けて、文学作品の新しいかわり方を提案していると言っている。作者や内容にひかれるもよし、本のカバーにひかれるもよし、出会い方は自由であってよい。本の魅力を知る機会を得ることが大切なのだ。▼文学作品との出会い方や味わい方が多様化しても、本に描かれた世界を通して自分なりに価値を発見したり、新たな自分を創造したりしていくことに変わりはない。▼来年は国民読書年。本を手にする若い世代を大いに歓迎したい。

## 1

上の新聞を読んで、あとの問いに答えなさい。

- 1 「太宰治文学サロン」が開設されたのはいつですか。次の(ア)と(イ)に当てはまる数字をそれぞれ書きなさい。  
「太宰治文学サロン」が開設された年月  
平成(ア)年(イ)月

平成(ア)年(イ)月

- 2 この紙面のトップ記事「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」と「コラム」との書き方の違いを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。  
1 トップ記事は結果を示してからその背景や原因を書いているが、コラムは時間の経過に沿って順番に書いている。  
2 トップ記事は事実を中心に客観的に書いているが、コラムは事実だけでなく書き手の意見や感想も交えて書いている。  
3 トップ記事は最新の出来事取材した上で書いているが、コラムは過去の情景を的確に描写しながら書いている。  
4 トップ記事は様々な事柄を示してから結論を書いているが、コラムは結論を述べてからその根拠となる事柄を書いている。
- 3 あなたは三つの記事の中で、どの記事の内容に興味をもちましたか。選んだ記事の内容について、次の条件1と条件2にしたがってあなたの感想を具体的に書きなさい。  
条件1 A「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」、B「シリーズ 広がる『食育』」、C「コラム」の二つの記事の中から一つ選ぶこと。  
条件2 選んだ記事のどのような内容について興味をもったのかが分かるように書くこと。

|                         |
|-------------------------|
| 全国新聞                    |
| A 「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」 |
| B 「シリーズ 広がる『食育』」        |

C 「コラム」

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

## 1 出題の趣旨

- 新聞を読んで、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 書かれている情報を的確に関連付けて読むこと
  - ・ 記事文における表現の仕方をとらえること
  - ・ 記事文に書かれている内容をもとに、自分の考えを書くこと

ここでは、新聞の第一面を読んで、記事の内容を確かめたり、比較したり、感想をまとめたりする場面を設定した。  
書かれている内容と欄外にある発行日などの基本的な情報を関連付けて読むこと、トップ記事とコラムの表現の仕方の違いをとらえること、複数の記事の中から興味のあるものを選択して自分の考えをもつことを求めている。

## 2 解説

### 設問一 ア・イ

#### ■ 正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。

- ① アに「二十」と書いている。
  - ② イに「三」と書いている。
- (正答)
- ・ (平成)二十(年)三(月)

※ 算用数字(アラビア数字)でも可。

トップ記事にある「三鷹市では、昨年3月、太宰が通った伊勢元酒店の跡地に『太宰治文学サロン』を開設した」の記述と、新聞の発行年月日「2009年(平成21年)6月20日」から考える。二つの情報を関連付ければ、「太宰治文学サロン」の開設は、平成二十一年の前年である平成二十年三月であることが分かる。

### 設問二

#### ■ 正答について

正答は、選択肢2である。  
「全国新聞」のトップ記事は、「太宰治生誕100年」について、それにかかわる事実や関係した人の声などを読者に伝えているのに対して、コラムは、文学作品とのかかわり方について、書き手が自分の意見や感想を交えて述べている。このことは、トップ記事にある「……迎えた」、「……呼ばれている」、「……集まった」、コラムにある「……手に取りたくなってしまう」、「……見逃せない」、「……歓迎したい」という文末表現の違いにも表れている。

※ 平成二十年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B [1] 二では、文章が書かれた目的を考え、表現の仕方の特徴をとらえることができるかどうかをみる問題を出題している。

(正答率 六八・一%)

### 設問三

#### ■ 正答について

正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。

- ① AからCまでの中のいずれか一つの記事を選んで、その記号に○を付けている。
- ② 選んだ記事のどのような内容について興味をもったのが分かるように書いている。  
(書かれている内容が文章の内容に照らして明らかに間違っている場合は条件②を満たさないものとする。)
- ③ 選んだ記事についての自分の感想を具体的に書いている。  
(記事を肯定的にとらえているか、否定的にとらえているかは問わない。)

### ■誤答について

「■正答について」に示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

- ・ 誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。
- ・ 記事の引用の後に「そのとおりだと思った」、「印象的だった」、「すごい」などという言葉を付け加えただけのもの
- ・ 文字のデザインや大きさなど形式面についてのみ着目して感想を書いているもの

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B1三では、情報をもとに、根拠を明らかにしながら、自分の考えが適切に相手に伝わるように書くことができるかどうかをみる問題を出题している。  
(正答率 七六・五%)

### 3 学習指導に当たって

#### (1) 身の回りにある情報に関心をもち、自分の意見や感想をもつ

生徒たちの身の回りには、大量かつ多様な情報があふれている。これらの情報を目的や意図に応じて読み、必要な情報を収集してそれを活用することが求められる。このような力を身に付けるためには、情報を的確に読み、それについて自分の意見や感想をもつよう指導することが大切である。

教科書の教材に加え、生徒たちの身近にあるパンフレットや広告などを用いて、そこに書かれている情報を的確に理解したり、比較したり、関連付けたりして、自分なりの意見や感想をもたせるような授業展開を工夫することが重要である。

#### (2) 読書生活を豊かにするために新聞を活用する

新聞は、多様な分野の内容を取り上げるとともに、様々な文章の形態を用いて書かれている。そのため、目的に応じて文章を読む学習活動を行う教材として有効である。

また、ものの方や考え方を広げていくための手立てとして新聞の特性を活用することは、一人一人の読書生活を豊かにし、自己を向上させようとする態度を養う面からも重要である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問                 | 出題の趣旨                                                          | 学習指導要領との関連                                                                                                                                | 評価の観点                        | 正答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一                  | 書かれている情報を的確に関連付けて読むことができるかどうかをみる。                              | C 読むこと（第一学年）<br>イ 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。<br>《内容把握や要約》                                                                           | 読む能力                         | ア<br>二十<br>イ<br>三                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 二                  | 記事文における表現の仕方をとらえることができるかどうかをみる。                                | C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br>ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。<br>《表現の仕方》                                                                                  | 読む能力                         | 2<br>トップ記事は事実を中心に客観的に書いているが、コラムは事実だけでなく書き手の意見や感想も交えて書いている。                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 三                  | 記事文に書かれている内容をもとに、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。                        | B 書くこと（第一学年）<br>イ 伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。<br>《事柄や意見》<br>C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br>エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。<br>《主題や要旨と意見》 | 国語への関心・意欲・態度<br>書く能力<br>読む能力 | <p><b>例1</b> A 「太宰の話で盛り上がった」とあるが、どのような話で盛り上がったのか興味をもった。私は「走れメロス」しか読んだことがないので、この記事を読んで他の作品も読んでみたいと思った。</p> <p><b>例2</b> B 伝統的な郷土料理を献立に盛り込むことが広く行われていることに興味をもちました。このような取り組みは、地域の歴史を知る上でも大切なので、私の学校でも行つてほしいと思います。</p> <p><b>例3</b> C 「文学作品との新しいかかわり方を提案している」というところに興味をもちました。現代は様々なメディアがあるので、活字だけでなく、映画や漫画などで文学作品に触れるのもよいと思います。</p> |
| 学習指導要領に示されている言語活動例 | 手紙や感想などの文章を書くこと。（書くこと）<br>様々な文章を比較して読んだり、調べるために読んだりすること。（読むこと） |                                                                                                                                           |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |



## 1 出題の趣旨

資料を作成し発表に使用する際に、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 資料の表現の仕方をとらえること
- ・ 文章から必要な情報を集め、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てて書くこと
- ・ 資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明すること

ここでは、日ごろから関心をもっていた消しゴムについて調べ、字が消える仕組みを中心に発表するという場面を設定した。

【提示する資料】の特徴をとらえること、収集した情報を資料の形式に合わせて適切に加工すること、聞き手に分かりやすく説明するために、作成した資料を効果的に活用することを求めている。

## 2 解説

### 設問一

#### ■ 正答について

正答は、選択肢4である。

【提示する資料】は、それぞれに見出しが付いている。これは、各資料の内容を簡潔に示し、聞き手に分かりやすく説明するための工夫である。

#### ■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 【提示する資料】では、内容を的確に伝えるために見出しや本文を分かりやすく簡潔に表現しており、語句の意味を注によって示してはいない。
- (2) 選択肢2 ↓ 【提示する資料】での文字の大きさの違いは、

見出しと本文との違いや、本文と図の説明との違いを示しており、調べたことと自分の考えとの区別を示しているものではない。

- (3) 選択肢3 ↓ 【提示する資料】は、それぞれ「原料」、「製造方法」、「仕組み」、「役割」を説明するものであり、自分の考えとその根拠とを述べているものではない。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B1  
二では、表現の仕方や文章の特徴をとらえることができるかどうかをみる問題を出題している。(正答率 七三・三%)

### 設問二

#### ■ 正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 【ノート】の中にある言葉を使って、説明を適切に書いている。
- ② 「黒鉛」という言葉に続くように、十五字以内で書いている。
- (正答例)

- ・ 消しゴムに引き付けられた(黒鉛) (十二字)
- ・ 紙の繊維から取り除かれた(黒鉛) (十二字)

【提示する資料】4は、【ノート】にある「3 どうして消せるのか?」の内容をまとめたものである。□は、「黒鉛の粒が消しゴムの表面に引き付けられる」部分を説明している箇所であり、「消しゴムの表面に引き付けられる」という内容で「黒鉛」という言葉に続くように十五字以内で書いたものを正答とする。

また、『字を消す』とは、この黒鉛を紙の繊維から取り除くこと」の部分を説明している「紙の繊維から取り除かれた」と書いたものも正答とする。

なお、【提示する資料】に絵があることから、例えば、引き付ける対象が省略されている次のようなものも正答とする。

- ・ 引き付けられた(黒鉛) (七字)

■誤答について

「■正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。

- ・ 「吸い付く(黒鉛)」のように【ノート】の中にある言葉を使っていないもの
- ・ 「黒鉛と消しゴムが引き合う(黒鉛)」のように、内容からみると説明として適切だと判断できるが、「黒鉛」という語に適切に続いていないもの

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B1  
 三アでは、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てることができるかどうかをみる問題を出題している。

(正答率 五九・九%)

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。

(正答率 四九・三%)

【小学校 国語B2(3)(1)】

2

川本さんの学級では、ごみを減らす取り組みの一つとして、身近な紙の問題を調べ、新聞にまとめて書くことにしました。そこで、紙についての資料を集めました。次の資料を読んで、あとの問いに答えましょう。

※ 段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

【資料1】

- 1 家庭や地域などから毎日のようにさまざまなごみが出されます。ごみの量をこれ以上増やさないようにするために、わたしたちに何ができるでしょうか。また、資源として大切に使うために、どのようなことができるでしょうか。身近な紙の問題を例にして考えてみましょう。
- 2 紙は、わたしたちのくらしの中でなくてはならないものであると同時に、産業や文化を支える大事な働きをしています。トイレットペーパーやティッシュペーパーなどは、生活用品として、また、新聞や雑誌、本などは、情報と知識を伝えるものとして、はば広く使われています。
- 3 一般に紙は、「紙」と「板紙(厚手の紙のこと)」に区分されます。新聞、雑誌、印刷用紙、コピー用紙、ノート、ティッシュペーパーなどは、「紙」に区分されます。段ボールや紙箱用のボール紙などは、「板紙」に区分されます。
- 4 日本の紙と板紙の生産量は、二〇〇二年(平成十四年)には、世界第 ア 位となっています。そのほとんどは国内で消費しています。
- 5 社会や経済の発展にともない、紙はより多くの分野で使われるようになり、新しく木から作り出す紙だけでは不足するようになってきました。そこで、<sup>①</sup>一度使い終わった紙を古紙として、再生利用することが世界的に重要な課題となりました。紙の原料である森林を守るためにも、古紙を利用して、むやみに木を切ることがないようにする必要があります。
- 6 古紙には、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パックなど、いくつかの種類があります。中でも、新聞紙、雑誌、段ボールの三種類が、古紙の大部分をしめています。
- 7 古紙の再生の方法としては、同じ種類の紙に生まれ変わることが多くなっています。段ボールの古紙は段ボールに、新聞紙の古紙は新聞紙になります。そのため、同じ種類の古紙はひもでくくり、まとめて回収に出すことが大事です。また、水にぬれていると再生しにくくなったり、金属が付いていると手間がかかってしまったりします。回収に出すときに少し気をつけることで、古紙の再生に役立つことになるのです。
- 8 このように、わたしたちの身近なところから古紙の再生利用を進めていくことは重要です。古紙を使って紙を生産し、古紙からできた紙をさらに再生利用することで紙の量を減らし、資源を有効に活用することができます。<sup>②</sup>わたしたちの身近なところからごみを減らすことを考えて、取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。



### 3 学習指導に当たって

#### (1) 収集した情報を目的に応じて整理し、資料を作成する

伝えたい内容を聞き手に的確に伝えるには、分かりやすく話すことが大切である。その際、説明するための資料を作成することは有効な手立ての一つである。資料の作成に当たっては、収集した情報を目的に応じて話の中心の部分と付加的な部分とに整理して、どの部分を取り上げると聞き手の理解を得やすいのか、どのような構成にすればより分かりやすくなるのかなど、内容と形式との両面から十分に考えるよう指導することが重要である。

情報機器の使用を視野に入れ、図表や写真などを効果的に用いて発表するような学習活動を積極的に取り入れていくことも大切である。

#### (2) 聞き手に分かりやすく伝えるための話の構成を考える

説明や発表などの言語活動を行う際は、自分の意見や考えがより効果的に伝わるよう話の構成や展開を工夫することが大切である。

例えば、発表に使用するために作成した資料を見直し、聞き手の立場に立って組み替えてみたり、一部の資料を作成し直したりすることが話の構成をより洗練することになる。その際、発表のリハーサルを見合ったり、映像などに記録した発表の様子を見直したりする学習活動を取り入れることも考えられる。

### 《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問 | 出題の趣旨                       | 学習指導要領との関連                                               | 評価の観点 | 正答                                                |
|----|-----------------------------|----------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------|
| 一  | 資料の表現の仕方をとらえることが出来るかどうかをみる。 | C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br>ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。<br>《表現の仕方》 | 読む能力  | 4 伝えたいことを明確に示すために、それぞれ【提示する資料】の内容にふさわしい見出しを付けている。 |

|                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学習指導要領に示されている言語活動例</p>                                                       | <p style="text-align: center;">三</p> <p>資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明することができるとかどうかをみる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p style="text-align: center;">二</p> <p>文章から必要な情報を集め、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てて書くことができるかどうかをみる。</p>                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>説明や発表などを行うこと。(話すこと・聞くこと)<br/>報告や意見発表などのために簡潔で分かりやすい文章や資料などを作成すること。(書くこと)</p> | <p style="text-align: center;">A 話すこと・聞くこと<br/>(第二学年及び第三学年)</p> <p style="text-align: center;">イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考慮して、話したり聞き取ったりすること。<br/>《構成や論理》</p> <p style="text-align: center;">B 書くこと (第一学年)</p> <p style="text-align: center;">イ 伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。<br/>《事柄や意見》</p> <p style="text-align: center;">書く能力</p>                                                          | <p style="text-align: center;">B 書くこと (第二学年及び第三学年)</p> <p style="text-align: center;">エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。<br/>《記述》</p> <p style="text-align: center;">C 読むこと (第二学年及び第三学年)</p> <p style="text-align: center;">オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。《情報の活用》</p> <p style="text-align: center;">書く能力<br/>読む能力</p> |
|                                                                                 | <p style="text-align: center;">例1 A</p> <p>私なら、タイトルを「なぜ字が消えるのか」に修正する。なぜなら、発表することの中心をタイトルで示すと、これから話すことについて聞き手によく分かってもらえると思うからだ。(八十四字)</p> <p style="text-align: center;">例2 B</p> <p>提示する資料③、④の順番を入れ替えます。なぜなら、資料③と⑤は字が消えることと直接関係がないので、その他の情報として最後に付け加えればよいと思うからです。(七十八字)</p> <p style="text-align: center;">例3 C</p> <p>私は⑤を使いません。なぜなら、ケースの役割は字が消える仕組みと関係ないと思うので、⑤を使わない方が発表の中心である内容をより明確に説明することができますからです。(八十一字)</p> | <p style="text-align: center;">例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消しゴムに引き付けられた(黒鉛)(十二字)</li> <li>・ 紙の繊維から取り除かれた(黒鉛)(十二字)</li> </ul>                                                                                                                                                                                             |

### ③ 文学的な文章を読む（「吾輩は猫である」）

3 次の文章は、明治時代に書かれた「吾輩は猫である」の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

（「こまでのあらずじ」）吾輩は猫である。名前はまだない。節原の中に捨てられた吾輩は、食べ物求めて忍び込んだる家に住み着くようになった。教師をしているその家の主人には様々な客があり、吾輩は、人間とは思えないものと思いつながら、主人や来客の姿を観察している。

こう暑くては猫といえどもやりきれない。皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだといギリスのシドニー・スマースとかいう人が苦しがつたという話があるが、たとい骨だけにならなくともいいから、せめてこの淡灰色の襟入りの毛衣だけはちよつと洗ひ張りでもするか、もしくは自分のうち質にでも入れたいような気がする。人間から見たら猫などは年が年じゅう同じ顔をして、春夏秋冬一枚看板で押し通す、至つて単純な無事な銭のかからない生涯を送つていられるように思われるかもしれないが、いくも猫だつて相應に暑さ寒さの感じはある。たまには行水の一度ぐらいあびたくはないが、なにしろこの毛衣の上から湯を使つた日にはわかすのが容易なことでないから汗臭いのを我慢してこの年になるまで銭湯ののれんをくぐつたことはない。おりおりは困窮でも使つてみようという気も起ころんではないが、とにかく掃除することができないのだからかたがたない。それを思うと人間はせいとくなものだ。なまで食つてしかるべきものをわざわざ煮てみたり、焼いてみたり、酔に漬けてみたり、味噌をつけてみたり好んでよいいな手数をかけてお互いに悦びしている。着物だつてそうだ。猫のように一年じゅう同じ物を着通すというのは、不完全に生まれついた彼らにとつて、ちと無理かもしれないが、なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてもいいことだ。羊の御厄介になつたり、蚤のお世話になつたり、綿畑のお情けさを受けるに至つてはせいとくは無能の結果だと断言してもいいくらいだ。

（夏目漱石「吾輩は猫である」による）

- 〔注1〕 シドニー・スマースイギリスの著作家。
  - 〔注2〕 たといとえ。
  - 〔注3〕 襟入り＝まだら模様。
  - 〔注4〕 洗ひ張り＝洗濯してしわを伸ばすこと。
  - 〔注5〕 質にでも入れたい＝質屋にでも預けたい。
  - 〔注6〕 年が年じゅう＝一年中。
  - 〔注7〕 一枚看板＝ここでは、一枚しかない衣服のこと。
  - 〔注8〕 悦び＝ひびく喜ぶこと。
  - 〔注9〕 暮らさなくてもいいこと＝暮らさなくても済むことだ。
- 一 〓〓〓線部A「やりきれない」、〓〓〓線部B「相應に」とありますが、それぞれの意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つずつ選びなさい。
- |                                                                                 |                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| <p>A やりきれない</p> <p>1 役に立たない</p> <p>2 落ち着かない</p> <p>3 耐えられない</p> <p>4 無視できない</p> | <p>B 相應に</p> <p>1 それなりに</p> <p>2 ささやかに</p> <p>3 想像以上に</p> <p>4 世代ごとに</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
- 二 〓〓線部「羊の御厄介になつたり、蚤のお世話になつたり、綿畑のお情けさを受ける」とありますが、この部分は、人間が何をどうすることを表したのですか。十字以内で書きなさい。

三 山田さんと中川さんは、この文章で面白いと感じた点について話し合っています。次は、二人が「注目した表現」と「話し合いの一部」です。【話し合いの一部】で山田さんは、③と④には、共通した面白さがあると考えますか。あなたの考えを、「注目した表現」③と「注目した表現」④には、「に続けて、三十文字以上、五十文字以内で書きなさい。」なお、読み返して文章を直したいときは、「本線」で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 【注目した表現】
- ① 皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだといギリスのシドニー・スマースとかいう人が苦しがつたという話がある
  - ② 淡灰色の襟入りの毛衣だけはちよつと洗ひ張りでもするか、もしくは自分のうち質にでも入れたいような気がする
  - ③ なまで食つてしかるべきものをわざわざ煮てみたり、焼いてみたり、酔に漬けてみたり、味噌をつけてみたり好んでよいいな手数をかけてお互いに悦びしている
  - ④ なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてもいいことだ

【話し合いの一部】

山田 ①は、猫なのに物知りで、人間でもあまり知らないようなことを知っているところが面白い。

中川 ②は、できるはずのないことを、その気になればできるかのように語っているところが面白いと思う。

山田 ③と④には、共通した面白さがあるよね。

### 1 出題の趣旨

文学的な文章を読んで、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 文脈の中における語句の意味を的確にとらえること
- ・ 表現の仕方に注意して読み、内容について理解すること
- ・ 文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えを明確に説明すること

ここでは、夏目漱石の「吾輩は猫である」の一部分を取り上げ、特徴的な表現に注意しながら読み、面白いと感じた点について話し合う場面を設定した。

文学的な文章を読んで、語句の意味を的確にとらえること、比喻

的な表現で書かれた内容についてその意味を考えると、特徴的な表現に基づいて文章の面白さについて自分の考えをもつことを求めている。

## 2 解説

### 設問一 A・B

#### ■正答について

Aの正答は、選択肢3である。

「やりきれない」の辞書的な意味は、「最後までやり遂げることができない。」「がまんできない。たえきれない。」である。本文の「やりきれない」の前で「こう暑くては」と言い、後ろで「毛衣だけはちよっと洗い張りでも」したい、「質にでも入りたい」と言っている。これらのことから、暑さに「耐えられない」状態であることが分かる。

Bの正答は、選択肢1である。

「相応に」の辞書的な意味は、「つり合いがとれていること。ふさわしいこと。」である。本文の「相応に」を挟んでいる「いくら猫だって」、「暑さ寒さの感じはある」から考えると、人間と全く同じではないにしても、猫は猫なりに暑さや寒さを感じるという意味であることが分かる。

### 設問二

#### ■正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。

① 人間が何をどうすることが分かるよう適切に書いている。

② 十字以内で書いている。

(正答例)

・ 衣服を着ること

(七字)

——線部の前にある「着物だってそうだ。」という文からも分かる通り、この部分は、人間が様々な衣服を着ることを「羊」、「蚕」、「綿畑」という衣類の素材に関連する言葉を用いてたとえている。

#### ■誤答について

「■正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。

- ・ 「何を」あるいは「どうすること」の一方にしか触れていないもの
- ・ 「羊」、「蚕」、「綿畑」という言葉がたとえている内容をとらえていないもの

### 設問三

#### ■正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。

① 【注目した表現】③と【注目した表現】④に共通した面  
白さを適切に書いている。

② 三十文字以上、五十文字以内で書いている。

【注目した表現】③と【注目した表現】④の二つの表現に共通した面白さをとらえるためには、ともに猫の眼から描いているというに加えて、人間の眼からみると当然である食事や衣服について、批判的な見方をしていて、独創的なとらえ方をしている、大げさな表現をしているなど、内容や表現にわたる特徴に気付くことが求められる。その上で、自分の言葉で考えをまとめることが大切である。

### ■誤答について

「■正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。

- ・【注目した表現】③あるいは④の一方にしか触れていないもの
- ・本文の一部を引用しただけのもの

## 3 学習指導に当たって

### (1) 文脈の中で語句の意味をとらえる

読んでいる文章に分らない語句があった場合、前後の文章とのつながりや使われている漢字の意味を手掛かりに語句の意味を推測し、それを文脈に戻すことで文章に書かれている内容を大筋でつかむ力が大切である。そのためにも日ごろから、辞書を引いて意味を確かめ、語彙を豊かにしようとする習慣を身に付けさせる必要がある。

### (2) 表現に着目して読む

文学的な文章を読むことの指導における話合いという言語活動では、例えば、文章の表現に着目した学習活動を取り入れることが大切である。その際、内容だけでなく、表現の仕方についても取り上げ、読んで考えたことについて意見を交流し、互いの考えを深めたり、着目した表現を参考にして自分の表現に生かしたりすることなども効果的である。

### (3) 読み継がれてきた文学作品を読む

文学的な文章を読むに当たっては、これまでの読書生活を振り返らせ、幅広く文学作品に目を向けさせることで、ものの見方や考え方を広げていく指導も必要である。その際、これまで読み継がれてきた近代以降の代表的な作家の作品を取り上げることにも有効である。生徒にとってはなじみの薄い一見難解な文章であっても、表現や背景に着目して豊かに読み味わう経験をさせることで、

他の様々な作品に対する興味・関心を喚起することができる。そうすることが、我が国の言語文化に親しみ、理解を深めることにもつながる。

## 4 出典等

夏目漱石「吾輩は猫である」(『吾輩は猫である』昭和三十七年九月 角川書店)による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 三                                                                                              | 二                                                                 | 一                                                                     |                     | 設問                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------------|
|                                                                                                |                                                                   | B                                                                     | A                   | 出題の趣旨             |
| <p>文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えを明確に説明することができかどうかをみる。</p>                                              | <p>表現の仕方に注意して読み、内容について理解することができかどうかをみる。</p>                       | <p>文脈の中における語句の意味を的確にとらえることができるかどうかをみる。</p>                            |                     | <p>学習指導要領との関連</p> |
| <p>C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br/>ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。<br/>《表現の仕方》</p>                              | <p>C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br/>ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。<br/>《表現の仕方》</p> | <p>C 読むこと（第一学年）<br/>ア 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること。<br/>《語句の意味や用法》</p> |                     | <p>評価の観点</p>      |
| <p>国語への関心・意欲・態度<br/>書く能力<br/>読む能力</p>                                                          | <p>読む能力</p>                                                       | <p>読む能力</p>                                                           |                     | <p>正答</p>         |
| <p>【例】<br/>【注目した表現】③と【注目した表現】④には、猫が人間の暮らしぶりをあれこれ取り上げて偉そうに批判しているという点で共通した面白さがある。<br/>(四十六字)</p> | <p>【例】<br/>衣服を着ること<br/>(七字)</p>                                   | <p>1<br/>それなりに</p>                                                    | <p>3<br/>耐えられない</p> |                   |



### Ⅲ 調查問題等



# 中学校第3学年

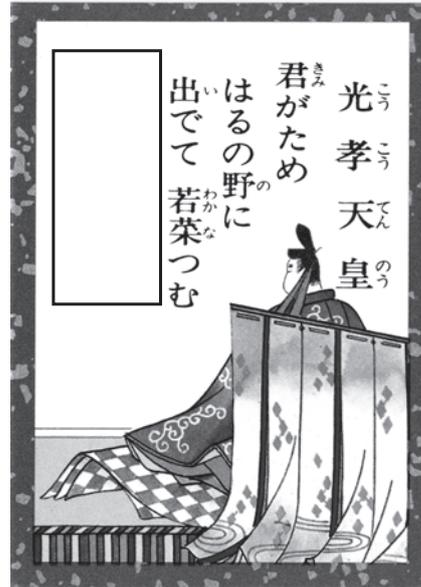
# 国語 A

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから22ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語A」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、**濃く、はつきりと書いてください。**
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語A」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

1

次の百人一首の札の  に当てはまるものを、【現代語訳】を参考にして、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。



【現代語訳】

あなたにさしあげようと思って、春の野に出て若菜をつんでいるこの私の袖そでに、まだ雪がちらちら降りかかっているのですよ。

1

富士の高嶺たかねに  
雪はふりつつ

ふしのたか  
ねにゆきは  
ふりつつ

2

わが衣手に  
雪はふりつつ

わかこも  
てにゆきは  
ふりつつ

3

ふりゆくものは  
わが身なりけり

ふりゆくも  
のはわかみ  
なりけり

4

よしのの里に  
ふれる白雪

よしののさ  
とにふれる  
しらゆき

現代語訳：…島津忠夫しまづただお訳注『新版 百人一首』による。

百人一首の札：…「小倉百人一首平安」による。

**2**

次は、掲示板にはり出されていた【図書委員会からのお知らせ】の一部です。このお知らせでは、「本を借りる人が増えてきている」と言っています。必ずしもそのように言い切ることはできません。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

**【図書委員会からのお知らせ】**

|              | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 計   |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 貸し出した本の合計(冊) | 108 | 121 | 132 | 153 | 514 |

上の表から、本を借りる人が増えてきていることが分かります。

皆さん、これからもたくさん本を読みましょう。本は、一度に一人5冊まで借りることができます。

- 1 貸し出した本の合計が学級ごとに示されておらず、比べることができないから。
- 2 貸し出した本の合計は増えているが、同じ人が何冊も借りているかもしれないから。
- 3 貸し出した本が、期日を守って返却されているのかどうか示されていないから。
- 4 貸し出した本の合計は分かるが、どのような本が貸し出されたのかは分からないから。

3

竹田さんの学校では、生徒会役員選挙が行われます。次は、生徒会長に立候補した青山さんと小川さんの【演説の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

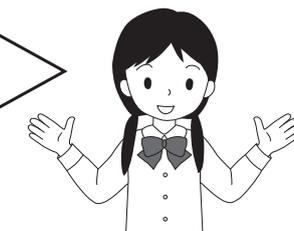
青山さんの【演説の一部】

私は、野球部の部長をしています。試合に勝つためにはチームワークが必要です。しかし、部の中にはいろいろな考え方がいます。意見が食い違ったときは大変です。でも、私はそれを乗り越えてきました。それは、部活動でも生徒会活動でも同じです。生徒会長に当選したら、みんなをまとめる力強いリーダーになります。そして明るく楽しい学校を目指します。



小川さんの【演説の一部】

今までの生徒会活動では、様々な活動を、生徒役員や各委員会が行っていましたが、私は、新しい生徒会活動の在り方を考える時期に来ていると思います。「委員会には入っていないけれど、学校のために何かしたい。」「あの委員会が行っている活動を自分も手助けしたい。」「などと考えた人も気軽に活動に参加できるように仕組みを変えたいと考えています。」



一 青山さんと小川さんの【演説の一部】を比較すると、二人の話し方にはそれぞれ特徴があることが分かります。青山さんの話し方にはどのような特徴がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 青山さんは、聞き手の興味や関心を引き付けるために、質問を交えながら話している。
- 2 青山さんは、自分の実績を詳しく説明するために、様々なたとえを用いて話している。
- 3 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短くして話している。
- 4 青山さんは、自分の考えを印象付けるために、重要な言葉を繰り返して話している。

### 竹田さんの【考え】



私も、学校のために何かしたいと

思っていたんだ。青山さんが言うように、

みんなをまとめるリーダーがいることも大切だけれど、

小川さんが言うように、だれもが気軽に参加

できたらいいな。

二 竹田さんは、二人の演説を聞きながら上のような【考え】をもちました。竹田さんは、何を重視して聞いていると考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 二人の候補者の、中学校生活におけるリーダーとしての経験。
- 2 二人の候補者の、聞く人に訴えかけるような言葉づかい。
- 3 二人の候補者の、演説の内容を通して感じられる人柄。
- 4 二人の候補者の、生徒会活動の在り方に対する考え。

松本さんの学級では、新入生に向けて、これからの学校生活の参考となるように「今、夢中になっていること」という題で文章を書くことになりました。次は、【松本さんが書いた下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【松本さんが書いた下書き】

今、夢中になっていること、それは部活動です。

初めて

中学校に入学して、始めて吹奏楽部の生の演奏を聞いたとき、体中に響いてくる音の迫力に圧倒されました。そして、迷わず吹奏楽部に入部しました。その後、私の担当はフルートに決まりました。それから、自分でも驚くほどフルートに夢中になっています。

先日、そばで聞いていた友達から「うまくなったね。」と言いました。そのとき、音が出るまで苦勞したけれど、あきらめずに続けていてよかったと思いました。

今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。皆さんも中学校生活の中で、自分が全力で打ち込めることを探してみてください。きっと毎日が楽しく充実したものになるはずです。

一 下書きを読み直した松本さんは、〰線部「そばで聞いていた友達から『うまくなったね。』と言いました」の部分の「友達から」と「言いました」との言葉の関係が不適切なことに気付きました。本文中の推敲すいこうの仕方にならって、「言いました」の部分を適切に書き直さない。

二 〰線部「今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。」には二つの内容が含まれています。意味は変えずに二つの文に分けて書きなさい。なお、二文めには「目標です」に対応する主語を補いなさい。

## 5

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ゆうぐれ、川原の土手の草のなかに、ほんやりと寝ころんでいた。見あげる空が突きぬけてひろかった。

川水の音を聞きながら、ぼくは考えた。空のふかさについて。そのふかさにつもる時間について。時間のひとすみとうごめく人間について。

そしたら思わず嘔くしゃみがでて、ぼくというちっぽけな人間なんか、世にもつまらなく思われた。そこらにころがっている木の根っこと変わりがない。そんなふうにして、ぼくはたそがれてゆく空のかげりを長いあいだ眺めていた。このまま木の根っこになってしまえばよい。わざと、木の根っこをふりして、じっとしていた。

ところが、やぶ蚊が一匹二匹と耳もとでうなり声を立てはじめた。ズボンからはみでた足を喰くわれて、ぼくはもじもじと軀みをうごかし、ほとんど木の根っこの状態を中止しようとした。すると頭のうえをヒュッと掠かすめたものがある。うす闇やみにまぎれて見えなくなったと思うと、またくると向きを変え、ぼくのうえをヒュッと通る。一匹の中型のヤンマやまだった。きつと蚊をとっているのだろう、電光形にジグザグのコースをとりながら、忙しくあたりを飛びまわっている。ぼくはじつと息をこらした。ヤンマをおどかさなように、ふたたび木の根っこを化したのだ。

そのうち、おどろいたことに、ぼくのまわりから蚊のうなり声がまったく聞こえなくなってしまった。みんなヤンマが食べてしまったのだろう。ヤンマはぼくの鼻先すれすれにピュッと通りぬけたり、危うくぼくの腹にぶつかりそうになっては翅音はわたをたてて方向を変えたりした。それを見ていたら、ぼくはなんだか悲しくなってきた。ヤンマもやつぱり、ぼくのことを木の根っこのように扱ったからだ。ぼくはもぞもぞと身体を起こして、枯れ草のくつついたズボンをはたきながら立ちあがった。ヤンマはびっくりして、もちろんどこかへ消えて見えなくなった。

(注) ヤンマ＝大きいトンボの総称。

(北杜夫「少年」による。)

一 ―線部「悲しくなってきた」とありますが、「ぼく」はなぜ「悲しくなってきた」のですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 やぶ蚊がヤンマに食べられてしまい、周りに何もいなくなったと感じたから。
- 2 やぶ蚊すら捕まえることができない自分を役に立たないものと感じたから。
- 3 ヤンマからも自分はずまらないもののように扱われていると感じたから。
- 4 ヤンマの邪魔をしないようにしていたのに、おどかしてしまったと感じたから。

二 この文章の表現の特徴として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 「ぼく」の体験や思いが「ぼく」自身が語る形で描かれており、気持ちの変化が想像しやすくなっている。
- 2 「ぼく」の考えや感じたことが会話を多く用いて描かれており、登場人物の関係が想像しやすくなっている。
- 3 「ぼく」の周りの出来事が「ぼく」の感情を交えずに描かれており、自然の厳しさが想像しやすくなっている。
- 4 「ぼく」の言動が「です」「ます」というていねいな表現で描かれており、穏やかな雰囲気想像しやすくなっている。

## 6

次は、【生徒が作った詩】と、その詩について生徒自身が書いた【解説文】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【生徒が作った詩】

はじまりの朝

木の葉のすき間からこぼれる光

音をたてて開くつぼみ

さまざまな色がおどる通路路

どきどきしながらくぐる校門

「今年も一緒のクラスだよ」

見上げた教室の窓から

笑顔が私を見つめている

新学期の朝に見つけた春とともに

その一言が私をあたたかくしてくれた

行の番号

1

2

3

4

5

6

7

8

9

## 【解説文】

「はじまりの朝」は、新学年が始まる日の朝の様子と、そのときの気持ちを書き表した詩です。

これから始まる新学年への気持ちの高まりを表すために、書き方を工夫してみました。例えば、「音をたてて開くつぼみ」という部分では、開花する様子を「音をたてて」と表して、力強さや勢いをイメージしやすくしました。また、行末を名詞で終わらせたのは、登校する朝の様子をテンポよく表現したかったからです。

登校中に出会ったものはみんな、私の心をあたたくしてくれました。でも、何よりもあたたかさを感じたのは、私に呼びかけてくれた友達の言葉でした。

一 **【解説文】**の中に――線部「行末を名詞で終わらせたのは、登校する朝の様子をテンポよく表現したかったからです」とありますが、「行末を名詞で終わらせた」行を、**行の番号1から9までの中からすべて選**びなさい。

二 **【解説文】**の中に――線部「友達」とありますが、**【生徒が作った詩】**では「友達」のことを別の言葉で表現しています。その言葉を**【生徒が作った詩】**の中から**漢字二字**で探し、**抜き出し**なさい。

い。  
山川さんの学級では、文化祭で何を発表するの話を話し合っています。次の話し合いの様子を読んで、あとの問いに答えなさい。

文化祭のテーマは「世界とつながる私たちの町」です。私たちの町と世界とのつながりについて、クラスで発表する内容を決めます。班ごとに話し合ったことを提案してください。



司 会

一班では、友好関係がある海外のS市と私たちの町との交流の歴史を調べて発表するという案が出ました。



一班の代表

二班では、私たちの町の名産品である織物の輸出先を調べて発表するという案が出ました。

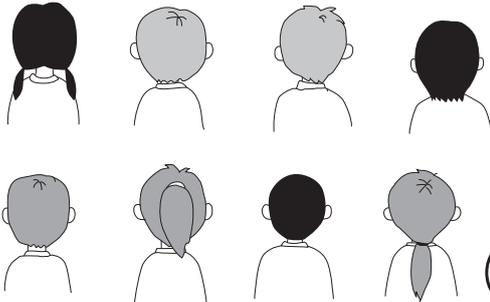


二班の代表

三班では、世界の七不思議を調べて、それぞれの内容について発表するという案が出ました。



三班の代表



林さん

これからの交流について、S市の中学生と意見交換もしたらどうかかな……。

山川さん

その提案は、テーマとの関係がよく分からないな。よし、質問してみよう。

一 山川さんは、提案の中に、テーマとの関係がよく分からないものがあることに気づき、提案者に質問をすることにしました。山川さんがしようとしている質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二班の代表に、織物が輸出されている国々を調べる方法について質問する。
- 2 二班の代表に、私たちの町の名産品にはどのようなものがあるのか質問する。
- 3 三班の代表に、世界の七不思議のなぞを解き明かす方法について質問する。
- 4 三班の代表に、私たちの町と世界の七不思議とのつながりについて質問する。

二 各班の提案を聞いていた林さんは、「これからの交流について、S市の中学生と意見交換もしてはどうでしょうか。」という意見を言おうと考えました。その発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 一班の提案は実現が困難であることを指摘する役割。
- 2 一班の提案に付け加えて新たな内容を提案する役割。
- 3 一班の提案と他の班の提案との優れた点を比較する役割。
- 4 一班の提案について対立する立場から批判する役割。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

四、五日前のことである。私は調べものの必要があつて、古い新聞の切り抜きを探し出した。そして、用が済んだので、丸めて捨てる前に裏にも目を通した。すると、そこにカモノハシに関する記事が載っていたのである。

御承知の通り、カモノハシはオーストラリアにしかない珍獣で、だから私もこの目で見たわけではない。どこかの動物園で見たような気がしているのは、絵本か写真で見えてそんな気がしているのだろう。あるいは、川かわ瀬せかなにかと混同しているのかもしれない。

動物学者の説明によると、——カモノハシの口は文字通り鴨かもの嘴はしで、くちばしである。しかし、鳥とは違う。足が四本である。ところが、その足には水かきが付いていて、だから鴨に似ているのである。しかし、身体は羽毛でなくて、獣毛で被おわれている。(私は子供の頃、近くの海岸で漁師の網にかかったアザラシの仔この背中を撫なでたことがあるが、あんな感触かしらと思う。)ところが、カモノハシは卵を生む。しかし、卵からかえった仔は乳で育てるのである。だから、哺乳類ほにゅういの仲間である。ところが、単孔類ないし一穴目いちけつめくと称されるように、大、小便と卵の出る所が同じという仕組みで、だから鳥とおなじである。……

言われてみれば、なるほどけつ(注)たいな動物である。それは、右の私の短い文章で「しかし」と「ところが」と「だから」を三回ずつも使わなくてはならなかったのを見てもわかる通りである。一般に、複雑なことを正確に説明しようとすれば、このようにひどい文章になることも避けられないのである。

(阿部昭「単純な生活」による。)

(注) けつ(注)たい 奇妙なさま。不思議なさま。

一 ―線部「鳥とは違う」とありますが、ここでいう「鳥とは違う」カモノハシの特徴を、次の1から6までの中から三つ選びなさい。

- 1 足が四本であること。
- 2 足に水かきが付いていること。
- 3 身体は獣毛で被われていること。
- 4 卵を生むこと。
- 5 仔は乳で育てること。
- 6 大、小便と卵の出る所が同じということ。

二 ―線部「ひどい文章」とありますが、筆者は、この文章のどのような点について「ひどい文章」と述べていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 短い文章の中で、順接や逆接の接続詞を何度も繰り返して使用した点。
- 2 図や写真などの資料を用いずに、文章のみで動物の特徴を説明した点。
- 3 対立する考えを、文章の途中に括弧（ ）を用いて記入した点。
- 4 実際に見たことのないものを説明するために、新聞記事を引用した点。

【案内文 A】（地域の方々に向けて作成しているもの）

|                                                                   |                                                        |
|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
|                                                                   | 平成22年 4 月20日                                           |
| 地域の皆様                                                             |                                                        |
|                                                                   | 第一中学校生徒会                                               |
| 地域清掃活動のお願い                                                        |                                                        |
| 春風のさわやかな季節になりました。皆様、いかがお過ごし<br>ですか。                               |                                                        |
| さて、第一中学校では、第二小学校にも呼びかけて、下記の<br>とおり、地域清掃を行います。                     |                                                        |
| ご多用のことと思いますが、ぜひご参加くださいますようお<br>願い申し上げます。                          |                                                        |
| 記                                                                 |                                                        |
| 1. <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">ア</span> | 5月16日（日）午前8時から午前10時                                    |
| 2. <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">イ</span> | 第二小学校及び第一中学校周辺                                         |
| 3. 内 容                                                            | ゴミ拾いや草取り                                               |
| 4. その他                                                            | 第一中学校正門前にお集まりください。<br>清掃用具は、当日お配りします。<br>雨天の場合は中止にします。 |

9

第一中学校では、生徒会主催の地域清掃活動を行う予定です。次は、生徒会が作成している【案内文 A】と【案内文 B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

—  
【案内文 A】と【案内文 B】には、  
【案内文 A】、【案内文 B】  
とも同じ項目名が入ります。  
それぞれ漢字二字で書きなさい。

【案内文B】（第二小学校の5・6年生に向けて作成しているもの）

平成22年4月20日

第二小学校5・6年生のみなさん

第一中学校生徒会

ちいきせいそう  
地域清掃活動のお願い

新学期が始まって2週間がたちました。みなさん、元気でがんばっていますか。

さて、第一中学校では、次のとおり、第二小学校のみなさんといっしょに地域のそうじをしたいと思います。

～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～

1. ア 5月16日（日）午前8時から午前10時
2. イ 第二小学校と第一中学校の周辺
3. ないよう内 容 ゴミ拾いや草取り
4. その他 第一中学校正門前に集まってください。  
そうじ用具は、当日配ります。  
雨がふった場合は中止にします。

二  
【案内文B】は、小学生に  
向けて書いています。【案内  
文A】を参考にして   
に入る一文を書きなさい。

10

次の1から8までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きなさい。

1 先生にソウダンする。

2 コウシキを使って面積を求めろ。

3 鏡にスガタをうつす。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 物語の冒頭を読む。

2 衝撃を受ける。

3 調べたことから結論を導く。

三 次のアからオの文では、( ) の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

- ア 物質が変化していく(1 家庭 2 仮定 3 過程 4 課程)を調べる。  
イ 会議で決を(1 執る 2 撮る 3 捕る 4 採る)。  
ウ わたしが健康になったのは、(1 ひとえに 2 ほのかに 3 いちずに 4 むやみに)母のおかげです。  
エ 参観日には父が学校へ来ると(1 申して 2 おっしゃって 3 話されて 4 申されて)おりました。  
オ 兄は困っている人を見るとほうっておけない(1 品格 2 資質 3 性分 4 器量)だ。

四 次の1と2で、アとイの文が同じような意味を表すように、イの文の( )に当てはまるひらがな一字をそれぞれ書きなさい。

- 1 ア 約束を守ることが大切だということを、彼は身をもって教えてくれた。  
イ 約束を守ることの大切( )を、彼は身をもって教えてくれた。  
2 ア チームの全員が望んでいるのは、彼に一刻も早く復帰してほしいということだ。  
イ チームの全員が望んでいるのは、彼( )一刻も早い復帰だ。

五 次のA、Bそれぞれの三つの漢字は、部首が同じで、意味の上でも共通点があります。A、Bそれぞれの共通点の説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。

A  
情 慣 快

B  
室 宅 宿

- 1 土地の形状に関連する意味を表す。
- 2 心の動きに関連する意味を表す。
- 3 建物や部屋に関連する意味を表す。
- 4 言葉を使った活動に関連する意味を表す。

六 長島さんは、家の人から「試験の直前になって勉強を始めるのは、『泥棒を捕らえて縄を縛う』ようなものだ。」と言われました。家の人のこの言葉には、どのような思いが込められていると思いますか。次の【国語辞典に載っていた意味】を参考にして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【国語辞典に載っていた意味】

泥棒を捕らえて縄を縛う

(泥棒を捕まえてから泥棒を縛るための縄を作るように) 日ごろから準備をしないで、

事件が起きてからあわてて対策を立てること。

- 1 人にはそれぞれ長所があるのだから、その長所を生かした方法を考えることが大切だという思い。
- 2 どんなことでも計画どおりに進むとは限らないので、計画に縛られないことが大切だという思い。
- 3 あせって物事に取り組むと必ず失敗するので、落ち着いて慎重に対処することが大切だという思い。
- 4 何かあったときに困らないように、そのための用意を前もっておくことが大切だという思い。

七 次は、「草」という漢字を【楷書】と【行書】で書いたものです。この二つの【違いを述べた文】の（ア）、（イ）に当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【楷書】



【行書】



【違いを述べた文】

【行書】の場合、【楷書】の①に当たる部分には、点画の（ア）が見られ、②に当たる部分では、（イ）も異なっている。

- |   |   |    |   |    |
|---|---|----|---|----|
| 1 | ア | 省略 | イ | 筆順 |
| 2 | ア | 省略 | イ | 部首 |
| 3 | ア | 連続 | イ | 筆順 |
| 4 | ア | 連続 | イ | 部首 |

八 村田さんは、連絡板に書いた【A】を、先生の助言をもとに【B】のように直しました。助言の中には、「連絡板全体を使ってバランスよく書くこと」という内容がありましたが、このほかにどのような助言を受けたと考えられますか。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

【A】  
連絡板

生徒の皆さんへ  
 一最新ニュース  
 ・「さくらまつり」に合唱部参加  
 ・野球部春季大会準優勝  
 二生徒会情報  
 ・ゴールデンウィーク前の図書貸し出し  
 〔四月十九日(月)～二十八日(水)〕  
 ・あいさつ運動スタート  
 〔四月十九日(月)～五月十四日(金)〕



【B】  
連絡板

生徒の皆さんへ  
 一最新ニュース  
 ・「さくらまつり」に合唱部参加  
 ・野球部春季大会準優勝  
 二生徒会情報  
 ・ゴールデンウィーク前の図書貸し出し  
 〔四月十九日(月)～二十八日(水)〕  
 ・あいさつ運動スタート  
 〔四月十九日(月)～五月十四日(金)〕

- 1 文字の大きさを同じにし、すべての行と行との間をそろえて書くこと。
- 2 文字の大きさや書き始めの位置を、見出しと内容とで変えて書くこと。
- 3 文字の大きさや書き終わりの位置を、すべての行でそろえて書くこと。
- 4 文字の大きさを変え、見出しの上下に余白を作らないように書くこと。

平成 22 年度 全国学力・学習状況調査  
平成 22 年 4 月 文部科学省

# 中学校第3学年

# 国語 B

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから14ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語B」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、**濃く、はつきりと書いてください。**
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語B」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

# 全国新聞

## 今も色あせない魅力 太宰治生誕100年

太宰が晩年を過ごし

た三鷹市では、昨年3

月、太宰が通った伊勢

元酒店の跡地に「太宰

治文学サロン」を開設

した。「このサロンは

展示された資料を見る

だけではなく、訪れた

で青森県出身の直木賞

作家・今官一。太宰の

作品「桜桃」にちなん

で付けたと言われ、今

年で61回目を迎えた。

太宰にゆかりのある各

地には、今年も多くの

ファンが集まった。

館。昨日は1179人

が訪れ、1日当たりの

来館者数としては過去

最高を記録した。サロ

ンを訪れた京都府に住

む太宰3年生(21)は

「ここで初めて出会っ

た人と太宰の話で盛り

上がった。外国人の太

宰ファンも来ていて驚

いた。また来たい」と

笑顔で話した。



「太宰治文学サロン」を訪れ、説明を聞く来館者

「走れメロス」「人間失格」などの作品を残した作家・太宰治(1909～48)が、昨日19日で生誕100年を迎えた。各地で様々な催しが行われる中、太宰ゆかりの地、東京都三鷹市には全国から多くのファンが訪れ、何年たっても色あせることのない太宰の魅力が改めて浮き彫りにした形となった。  
〈関連記事20面〉

太宰が亡くなって、彼の39歳の誕生日でもあり、その命日は桜桃(昭和23)年6月19日は忌と呼ばれている。命

2009年(平成21年) 6月20日 土曜日  
政治 4面  
国際 7面  
経済 9・11面  
スポーツ 16・17面  
文化 20面  
地域 26・27面

シリーズ「広がる『食育』」最終回  
「弁当の日」という取り組みが全国の学校に広がっている。香川県のある小学校では5・6年生の児童が、年5回自分たちだけで作った弁当を食べる。ここでのねらいは、子どもの「自立」。自分の食、ものを自分で作ることを通じて、地域の産業に対する理解を促し、伝統的な食文化を継承することになる。  
「食育の日」に合わせて、人のおかげで食事をすることができるようになる。自立につながると思えば、今週は各地の様子を紹介してきた。食に関する取り組みは、全国的に見ると、学校給食に地域の食材を積極的に取り入れたり、伝統的な郷土料理を献立に盛り込んだりすることもある。食への思いを育てる様々な取り組みに今後も注目してい



して生まれる自信や、多くのしょうとする思いを育てることになる。

「食育の日」に合わせて、人のおかげで食事をすることができるようになる。

自立につながると思えば、今週は各地の様子を紹介してきた。食に関する取り組みは、全国的に見ると、学校給食

に地域の食材を積極的に取り入れたり、伝統的な郷土料理

を献立に盛り込んだりすることもある。食への思いを育てる様々な

取り組みに今後も注目してい

て、地域の産業に対する理解を促し、伝統的な食文化を継承

することを通じて、子どもの「自立」。自分の食、ものを自分で作ることを通

じて、地域の産業に対する理解を促し、伝統的な食文化を継承



最近、文学  
作品を身近に  
感じさせる動  
きが盛んだ。  
文庫本のカ  
バーとつと  
てみても、人  
気漫画家によ  
るイラストや、芸能人  
の写真がデザインさ  
れているものがあり、  
文学ファンでなくても  
思わず手に取りたく  
なってしまう▶横書き  
で書かれた小説や電子  
書籍の売れ行きも好  
調であると聞く。今に  
始まったことではない  
が、いわゆる名作を漫  
画化したものが売れて  
いる現実も見逃せな  
い▶こうした動きは、  
特に若い世代に向け  
て、文学作品どの新し  
いかわり方を提案し  
ていると言つてよいだ  
ろう。作者や内容に  
ひかれるもよし、本の  
カバーにひかれるもよ  
し、出会い方は自由で  
あってよい。本の魅力  
を知る機会を得るこ  
とが大切なのだ▶文学  
作品との出会い方や味  
わい方が多様化して  
も、本に描かれた世界  
を通して自分なりに  
価値を発見したり、新  
たな自分を創造した  
りしていくことに変わ  
りはない▶来年は国民  
読書年。本を手取る  
若い世代を大いに歓迎  
したい。

1 上の新聞を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 「太宰治文学サロン」が開設されたのはいつですか。次の(ア)と(イ)に当てはまる数字をそれぞれ書きなさい。

平成(ア)年(イ)月

【太宰治文学サロン】が開設された年月】

二 この紙面のトップ記事「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」について、次の1から4までの1から4までの1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 トップ記事は結果を示してからその背景や原因を書いているが、コラムは時間の経過に沿って順番に書いている。
- 2 トップ記事は事実を中心に客観的に書いているが、コラムは事実だけでなく書き手の意見や感想も交えている。
- 3 トップ記事は最新の出来事取材した上で書いているが、コラムは過去の情景を的確に描写しながら書いている。
- 4 トップ記事は様々な事柄を示してから結論を書いているが、コラムは結論を述べてからその根拠となる事柄を書いている。

三 あなたは三つの記事の中で、どの記事の内容に興味をもちましたか。選んだ記事の内容について、次の条件1と条件2にしたがってあなたの感想を具体的に書きなさい。

- 条件1 A「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」、B「シリーズ 広がる『食育』」、C「コラム」の三つの記事の中から一つ選ぶこと。
- 条件2 選んだ記事のどのような内容について興味をもったのかが分かるように書くこと。

|         |                            |                     |  |
|---------|----------------------------|---------------------|--|
| 全国新聞    | A 「今も色あせない魅力<br>太宰治生誕100年」 | B 「シリーズ<br>広がる『食育』」 |  |
| C 「コラム」 |                            |                     |  |

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

← 選んだ記事の記号に○を付けなさい。

記事の記号

A B C

選んだ記事の内容についての感想

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|

問題は、次のページに続きます。

山本さんは、調べたことをまとめて発表する学習に取り組んでいます。次は、山本さんがまとめた【ノート】と、発表の際に【提示する資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【ノート】

4月12日

## 消しゴムについて

### 1 何からできているのか？

現在、広く使われているプラスチック製消しゴムの主な原料は、塩化ビニル樹脂、可塑剤、炭酸カルシウムなどである。

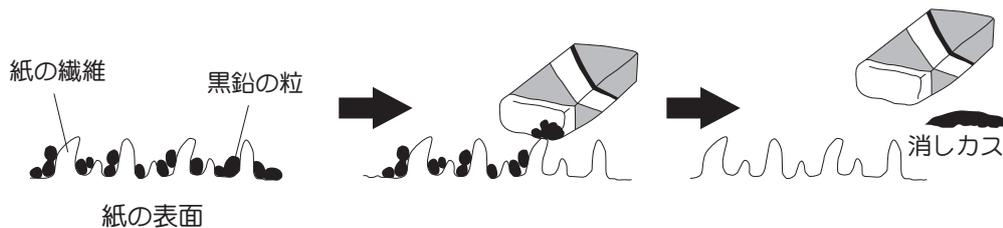
### 2 どうやって作るのか？

原料をかくはん機と呼ばれる機械の中に入れ、よく混ぜる。このときに着色剤や香料を加えると、色や香りの付いた消しゴムを作ることができる。混ぜ合わせた原料を型に入れ、約1時間加熱し、固める。固まった板状の消しゴムを型から取り出し、必要な大きさに裁断する。

### 3 どうして消せるのか？

「字を書く」とは、紙の繊維の間に鉛筆の芯に含まれる黒鉛が入り込むこと。逆に、「字を消す」とは、この黒鉛を紙の繊維から取り除くこと。消しゴムで字をこすると、黒鉛の粒が消しゴムの表面に引き付けられる。これは、可塑剤と黒鉛とが互いに引き合う性質を利用している。引き付けられた黒鉛の粒が丸め込まれ、消しカスとなる。

図にするとこんな感じ ↓

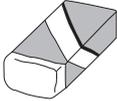


### 4 ケースは必要なのか？

紙のケースは、消しゴムの保管に大切な役割を果たしている。「使ったあとはこのケースに入れてください。」と書いてあるのは、消しゴムが他のプラスチック製品とくっつくのを防ぐため。これは、消しゴムに含まれている可塑剤が他のプラスチック製品に作用して軟らかくする性質をもっているからである。

※ 筆箱の中で定規と消しゴムとがくっついてしまうことがあるのは、消しゴムに含まれる可塑剤が原因。

## 消しゴムについて



3年1組35番 山本 はるか 1

## 消しゴムの原料

プラスチック製消しゴムの原料となるもの

{

- ・塩化ビニル樹脂
- ・可塑剤(かそざい)
- ・炭酸カルシウム など

2

## 消しゴムの製造方法

原料をよく混ぜる

↓

型に入れ加熱し、固める

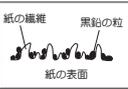
↓

型から取り出し、裁断する

3

## 字が消える仕組み

紙の繊維



紙の表面

黒鉛の粒



紙の繊維に入り込んだ黒鉛



黒鉛



消しカスとなった黒鉛



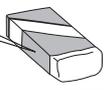
4

## ケースの役割

- ・保管のために大切

「使ったあとはこのケースに入れてください。」

⇒他のプラスチック製品とくっつくのを防ぐ



5

— 山本さんの【提示する資料】について説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

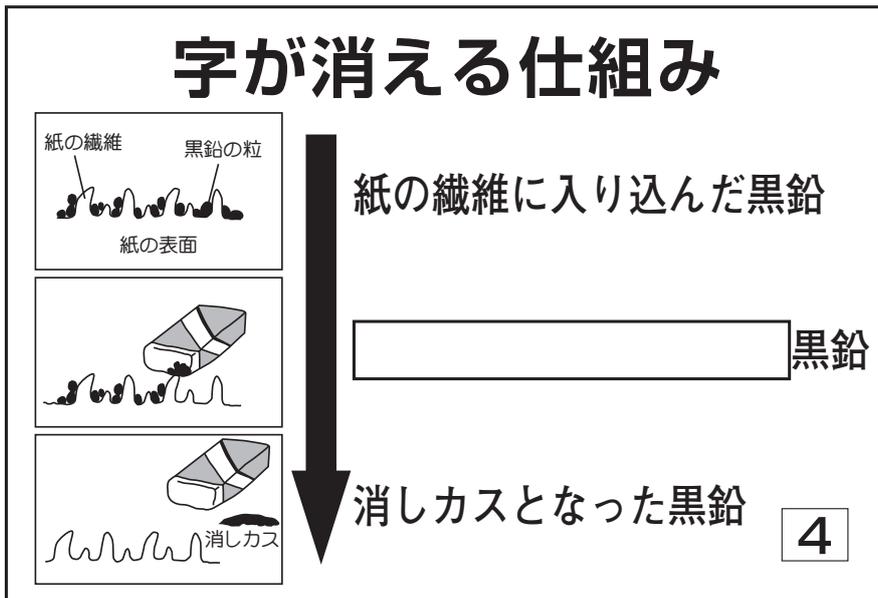
- 1 難しい内容を的確に伝えるために、それぞれの【提示する資料】の中の語句の意味を注によって示している。
- 2 調べたことと自分の考えとを区別するために、それぞれの【提示する資料】で文字の大きさを変えている。
- 3 話す内容に説得力をもたせるために、それぞれの【提示する資料】に自分の考えとその根拠を書いている。
- 4 伝えたいことを明確に示すために、それぞれの【提示する資料】の内容にふさわしい見出しを付けている。

二 【提示する資料】 4 の  には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【フート】の中にある言葉を使って書くこと。

条件2 「黒鉛」という言葉に続くように、十五字以内で書くこと。

【提示する資料】 4



三 山本さんは、字が消えることを中心に発表しようと思い、「提示する資料」を修正することにしました。あなたなら、どのように修正しますか。〈修正の方法〉を次のAからCまでの中から一つ選びなさい（どの〈修正の方法〉を選んでかまいません。）。

その上で、〈修正の具体的なやり方とその理由〉をあとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

#### 〈修正の方法〉

- A 【提示する資料】 ①のタイトル「消しゴムについて」を変える。
- B 【提示する資料】 ②から⑤の順番を入れ替える。
- C 【提示する資料】 ②から⑤のうちの何枚かを使わないことにする。

条件1 【提示する資料】の中にある言葉を使って書くこと。

条件2 六十字以上、九十字以内で書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



問題は、次のページに続きます。

## 3

次の文章は、明治時代に書かれた「吾輩は猫である」の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔ここまでのあらすじ〕 吾輩は猫である。名前はまだない。笹原(ささはら)の中に捨てられた吾輩は、食べ物求めて忍び込んだある家に住み着くようになった。教師をしているその家の主人には様々な客があり、吾輩は、人間とは思議なものだと思ひながら、主人や来客の姿を觀察している。

こう暑くては猫といえどもやりきれない<sup>A</sup>。皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだといギリスのシドニー・スミスとかいう人が苦しがつたという話があるが、たとい骨だけにならなくともいいから、せめてこの淡灰色(注3)の斑入り(注4)の毛衣だけはちよつと洗(注4)い張りでもするか、もしくはは当分のうち質(注5)にでも入れたいような気がする。人間から見たら猫などは年が年じゅう同じ顔をして、春夏秋冬一枚看板(注7)で押し通す、至って単純な無事な銭のかからない生涯を送っているように思われるかもしれないが、いくら猫だつて相応Bに暑さ寒さの感じはある。たまには行水の一度ぐらいあびたくないこともないが、なにしろこの毛衣の上から湯を使った日にはかわかすのが容易なことでないから汗臭いのを我慢してこの年になるまで銭湯ののれんをくぐったことはない。おりおりは団扇(注4)でも使つてみようという気も起こらぬではないが、とにかく握ることができないのだからしかたがない。それを思うと人間はぜいたくなものだ。なまで食つてしかるべきものをわざわざ煮てみたり、焼いてみたり、酢(注8)に漬けてみたり、味噌(注8)をつけてみたり好んでよいいな手数をかけてお互いに恐悦(注8)している。着物だつてそうだ。猫のように一年じゅう同じ物を着通せというのは、不完全に生まれついた彼らにとって、ちと無理かもしれんが、なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてもものことだ。羊(注9)の御厄介になつたり、蚕のお世話になつたり、綿畑のお情けさえ受けるに至つてはぜいたくは無能の結果だと断言してもいいくらいだ。

(夏目漱石「吾輩は猫である」による。)

(注1) シドニー・スミスイギリスの作家。

(注6) 年が年じゅう一年中。

(注2) たといとえ。

(注7) 一枚看板ここでは、一枚しかない衣服のこと。

(注3) 斑入りとまだら模様。

(注8) 恐悦とひどく喜ぶこと。

(注4) 洗い張り洗濯してしわを伸ばすこと。

(注9) 暮らさなくてものことだ暮らさなくても済むことだ。

(注5) 質にでも入れたい質屋にでも預けたい。

一 線部A「やりきれない」、線部B「相応に」とありますが、それぞれの意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つずつ選びなさい。

A やりきれない

B 相応に

- 1 役に立たない
- 2 落ち着かない
- 3 耐えられない
- 4 無視できない

- 1 それなりに
- 2 ささやかに
- 3 想像以上に
- 4 世代ごとに

二 線部「羊の御厄介になったり、蚕のお世話になったり、綿畑のお情けさえ受ける」とありますが、この部分は、人間が何をどうすることを表したものです。十字以内で書きなさい。

三 山田さんと中川さんは、この文章で面白いと感じた点について話し合っています。次は、二人が【注目した表現】と【話し合いの一部】です。【話し合いの一部】で山田さんは、「③と④には、共通した面白さがあるよね。」と発言しています。あなたは、③と④には、どのような共通した面白さがあると考えますか。あなたの考えを、「【注目した表現】③と【注目した表現】④には、」に続けて、三十文字以上、五十文字以内で書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【注目した表現】

① 皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだといギリスのシドニー・スミスとかいう人が苦しがつたという話がある

② 淡灰色の斑入りの毛衣だけはちよつと洗い張りでもするか、もしくは当分のうち質にでも入れたいような気がする

③ なまで食ってしかるべきものをわざわざ煮てみたり、焼いてみたり、酢に漬けてみたり、味噌をつけてみたり好んでよけいな手数をかけてお互いに恐悅している

④ なんにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてものことだ

【話し合いの一部】

山田 ①は、猫なのに物知りで、

人間でもあまり知らないよ  
うなことを知っているところ  
が面白い。

中川 ②は、できるはずのない

ことを、その気になればで  
きるかのように語っている  
ところが面白いと思う。

山田 ③と④には、共通した面

白さがあるよね。





平成 22 年度 全国学力・学習状況調査  
平成 22 年 4 月 文部科学省

# 解答用紙



■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語 A

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

国語 A オモテ

学校名

解答欄はウラにもあります。

答案番号

絶対に汚さないこと。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。  
例：3組 7番の場合

組：0:3 出席番号：0:7

| 生徒記入欄 |      | 性別          |
|-------|------|-------------|
| 組     | 出席番号 | 男 女         |
| 0 0   | 0 0  | 男 (●) 女 (○) |
| 0 1   | 0 1  |             |
| 0 2   | 0 2  |             |
| 0 3   | 0 3  |             |
| 0 4   | 0 4  |             |
| 0 5   | 0 5  |             |
| 0 6   | 0 6  |             |
| 0 7   | 0 7  |             |
| 0 8   | 0 8  |             |
| 0 9   | 0 9  |             |

※組・出席番号が1ケタの場合、左の○を塗りつぶしてください。

1 ① ② ③ ④

2 ① ② ③ ④

3 ① ② ③ ④ = ① ② ③ ④

4 ① ② ③ ④

友達から「うまくなったね。」と誉めました。

二文め 一文め

二文め

一文め

目標です。

5 ① ② ③ ④ = ① ② ③ ④

6 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ =

※当てはまるものをすべて選んで解答すること。

7 ① ② ③ ④ = ① ② ③ ④

8 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ = ① ② ③ ④

※二つ選んで解答すること。

絶対に汚さないこと。

**国語 A ウラ**

解答欄はオモテにもあります。

全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語 A

**9**

一

|   |  |
|---|--|
| ア |  |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| イ |  |
|---|--|

二

**10**

一

|   |  |
|---|--|
| 1 |  |
|---|--|

二

|   |  |
|---|--|
| 1 |  |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| 2 |  |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| 3 |  |
|---|--|

三

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ア | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| イ | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| エ | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| オ | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|

四

|   |  |
|---|--|
| 1 |  |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| 2 |  |
|---|--|

五

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| A | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| B | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|

六

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|

七

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|

八

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|





正 答 (例)



※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」や「2 解答類型」に記載しているので、採点や学習指導の改善等に当たっては、それぞれ参照されたい。

■全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語 A

この用紙は、必ずこの向きで記入してください。

国語 A オモテ

解答欄はウラにもあります。

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

答案番号

絶対に汚さないこと。

1 ① ● ③ ④ ↓ 解答類型 P.7 参照

2 ① ● ③ ④ ↓ 解答類型 P.7 参照

3 ① ② ● ④ = ① ② ③ ● ↓ 解答類型 P.7 参照

4 例 言われました

友達から「うまくなったね。」と言いました。

二 一文め 例 今、私たちは全国大会出場に向けて練習しています。

二 一文め 例 全国大会出場は、三年生にとって最大の目標です。

↓ 解答類型 P.8 参照

5 ① ② ● ④ = ● ② ③ ④ ↓ 解答類型 P.8 参照

6 ● ● ● ● ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ = 笑 顔 ↓ 解答類型 P.9 参照

※当くはまるものをすべて選んで解答すること。

7 ① ② ③ ● ④ = ① ● ③ ④ ↓ 解答類型 P.9 参照

8 ● ② ● ④ ● ● ⑥ = ● ② ③ ④ ↓ 解答類型 P.9 参照

※二つ選んで解答すること。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：3組 7番の場合

組：0:3 出席番号：0:7

| 生徒記入欄 |                                         |
|-------|-----------------------------------------|
| 性別    | 男 (男) 女 (女)                             |
| 組     | 0 0 1 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 8 9 9 |
| 出席番号  | 0 0 1 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 8 9 9 |

※組・出席番号が1ケタの場合、左の0を塗りつぶしてください。

絶対に汚さないこと。

解答欄はオモテにもあります。

1997年度以降の試験は、いはい「た」のWJが改正されました。

※ 「Ⅱ」各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」や「Ⅱ 解答類型」に記載しているのので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも参照されたい。

全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語A

9

一

|   |     |   |
|---|-----|---|
| ア | 例 日 | 時 |
| イ | 例 場 | 所 |

二

例  
用事もああると思ひますが、ぜひ参加をお願ひしします。

↓ 解答類型 P.10 参照

10

|   |         |         |   |           |   |         |
|---|---------|---------|---|-----------|---|---------|
| 一 | 1       | 相談      | 2 | 公式        | 3 | 姿       |
| 二 | 1       | ぼうとう    | 2 | しょうげき     | 3 | みちび く   |
| 三 | ア       | ① ② ● ④ | イ | ① ② ③ ● ④ | ウ | ● ② ③ ④ |
|   | エ       | ● ② ③ ④ | オ | ① ② ● ④   |   |         |
| 四 | 1       | と       | 2 | の         |   |         |
| 五 | A       | ① ● ③ ④ | B | ① ② ● ④   |   |         |
| 六 | ① ② ③ ● |         |   |           |   |         |
| 七 | ① ② ● ④ |         |   |           |   |         |
| 八 | ① ● ③ ④ |         |   |           |   |         |

↓ 解答類型 P.11 P.14 参照

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」や「2 解答類型」に記載しているのので、採点や学習指導の改善等に当たってはそれぞれも参照されたい。

■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑤ 国語 B

1 一 ア 二十 イ 三 二 ① ● ③ ④

例 ← 選んだ記事の記号に○を付けなさい。

三 記事の記号 A B C

選んだ記事の内容についての感想

例 「太宰の話で盛り上がった」とあるが、どのような話で盛り上がったのか興味をもった。私は「走れメロス」しか読んでことがないので、この記事を読んで他の作品も読んでみたいと思った。

↓ 解答類型 P.17 P.18 参照

2 一 ① ② ③ ● 二

例 消しゴムに引き付けられた黒鉛

↓ 解答類型 P.19 参照

2 三の解答欄は、裏面にあります。

この用紙は、必ず「国語B オモテ」の裏面に貼ってください。

学校名

国語B オモテ

解答欄はウラにもあります。

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

絶対につままないこと。

答案番号

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。  
例：3組 7番の場合  
組：03 出席番号：07

| 生徒記入欄 |      | 性別 | 男女 |
|-------|------|----|----|
| 組     | 出席番号 | 男  | 女  |
| 00    | 00   | ●  | ○  |
| 01    | 01   | ○  | ○  |
| 02    | 02   | ○  | ○  |
| 03    | 03   | ○  | ○  |
| 04    | 04   | ○  | ○  |
| 05    | 05   | ○  | ○  |
| 06    | 06   | ○  | ○  |
| 07    | 07   | ○  | ○  |
| 08    | 08   | ○  | ○  |
| 09    | 09   | ○  | ○  |

※組・出席番号が1ケタの場合、左の○を塗りつぶしてください。

絶対につままないこと。

※ 「2 解答類型」の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」や「2 解答類型」に記載しているのので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも参照されたい。

全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑤ 国語 B

例 ← 選んだ修正の方法に○を付けなさい。

2 三 〈修正の方法〉  A    B    C

〈修正の具体的なやり方とその理由〉

例 私 なら、タイトルを「なぜ字が  
消えるのか」に修正する。なぜな  
ら、発表することの中心をタイト  
ルで示すと、これから話すことに  
ついて聞き手によく分かっ  
てもらえ  
ると思  
うから  
だ。

↓ 解答類型 P.20 参照

3 一 A  ①  ②  ③  ④  
B  ①  ②  ③  ④

例 二 衣服を着ること

三 【注目した表現】③と【注目した表現】④には、猫が人間の  
暮らしぶりをあれこれ取り上げて  
偉そうに批判しているという点で  
共通した面白さがある。

↓ 解答類型 P.21、P.22 参照

国語B ウラ

解答欄はオモテにもあります。

## 点字問題（抜粋）

【中学校国語】A 主として「知識」に関する問題

10

次の一から八までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の「・・・」で示した部分と同じ意味の漢字を用いるものを、それぞれあとのアからエまでの中から一つずつ選びなさい。

1 先生に相「談」する。

2 公「式」を使って面積を求める。

3 「姿」勢を良くする。

ア ごんごどう「だん」

ア 豊富なち「しき」

ア よう「し」たんれい

イ だいいち「だん」らく

イ わ「しき」の部屋

イ 「し」のうこうしょう

ウ 「だん」たいこうどう

ウ 明るい「しき」さい

ウ しんにゆうきん「し」

エ こじんめん「だん」

エ 組合のそ「しき」

エ 「し」ほんしゆぎ

二 次の1から3までの文中の――で示した語句の意味を簡潔に答えなさい。

1 物語の冒頭を読む。

2 衝撃を受ける。

3 安全な道へと誘導する。

三 次のアからオの文の（ ）に入れるものとして、あとの1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 物質が変化していく（ ）を調べる。

1 活用      2 安定      3 過程      4 集合

イ 会議で決を（ ）。

1 見る      2 得る      3 切る      4 採る

七 数字を用いた語を点字で書き表す場合について「説明した文」の（ア）、（イ）に当てはまる語として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つずつ選びなさい。

#### 【説明した文】

数量または順序を表す語でも、（ア）の場合は、発音するとおりに（イ）で書き表す。

ア 1 漢語      2 和語

イ 3 仮名      4 数字

八 点字の書き表し方についての次の1から4の説明の中で、「誤っているもの」を、一つ選びなさい。

- 1 新しい段落に入る時には、行頭を二マス下げってから書き始める。
- 2 数字のあとに続く単位が、ア行またはラ行の場合には、数字との間を一マス開けて書き表す。
- 3 大文字のアルファベットは、外字符に続けて大文字符を付けて書き表す。
- 4 詩を書き表す場合、詩行符を用いると紙面を節約することができる。

ここから先のページは、  
裏表紙の方からお読みください。

ここから先のページは,  
表紙の方からお読みください。

## 【参考文献】

- 文部科学省「中学校学習指導要領（平成10年12月告示，平成15年12月一部改正）」平成16年1月20日（改訂版）
- 文部科学省「中学校学習指導要領（平成20年3月告示）」
- 文部科学省「中学校学習指導要領（平成10年12月）解説 ー国語編ー（平成11年9月，平成16年5月一部補訂）」平成16年8月25日（一部補訂）
- 文部科学省「中学校学習指導要領解説 国語編」平成20年9月
- 全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」平成18年4月25日
- 文部科学省「読解力向上に関する指導資料 ～PISA調査（読解力）の結果分析と改善の方向～」平成17年12月
- 文部科学省「読解力向上プログラム」平成17年12月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料（中学校）ー評価規準，評価方法等の研究開発（報告）ー」平成14年2月
- 文部科学省 国立教育政策研究所「平成19年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」平成20年1月
- 文部科学省 国立教育政策研究所「平成20年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」平成20年11月
- 文部科学省 国立教育政策研究所「平成21年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」平成21年12月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成19年度 全国学力・学習状況調査解説資料 中学校 国語」平成19年5月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成20年度 全国学力・学習状況調査解説資料 中学校 国語」平成20年4月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成21年度 全国学力・学習状況調査解説資料 中学校 国語」平成21年4月

(62) 解答<sup>かいとう</sup>を文章<sup>ぶんしょう</sup>で書く問題<sup>か もんだい</sup>がありましたが、それらの問題<sup>もんだい</sup>で最後<sup>さいご</sup>まで解答<sup>かいとう</sup>を書こうと努力<sup>どりょく</sup>しましたか。

- ① すべての書く問題<sup>か もんだい</sup>で最後まで解答<sup>かいとう</sup>を書こうと努力<sup>どりょく</sup>した
- ② 書く問題<sup>か もんだい</sup>で解答<sup>かいとう</sup>しなかったり、解答<sup>かいとう</sup>を書くこと<sup>か</sup>を途中<sup>とちゅう</sup>であきらめたりしたものがあつた
- ③ 書く問題<sup>か もんだい</sup>は全く<sup>まった</sup>解答<sup>かいとう</sup>しなかった

あなたは、今回の国語の問題について、どのように思いましたか。次の(61)、(62)のそれぞれについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

次の新聞を読んで、あとの問いに答えなさい。

# 全国新聞

2009年(平成21年)  
6月20日  
土曜日  
政治 4面  
国際 7面  
経済 9・11面  
スポーツ 16・17面  
文化 20面  
地域 26・27面

## 今も色あせない魅力 太宰治生誕100年

「走れメロス」「人間失格」などの作品を残した作家・太宰治(1909〜48)が、昨日19日で生誕100年を迎えた。各地で様々な催しが行われる中、太宰ゆかりの地、東京都三鷹市には、全国から多くのファンが訪れ、何年たってもあせることのない太宰の魅力改めて浮き彫りにした形となった。(関連記事20面)



【太宰治文学サロン】を訪れ、説明を聞く来館者

太宰が亡くなって、彼の39歳の誕生日でものが発見された48(昭和23)年6月19日は「忘れメロス」をテーマに「忘」と呼ばれている。命

名したのは太宰と同郷で青森県出身の直木賞作家・今宮一。太宰の作品「桜桃」にちなんで付けたと言われ、今年で61回目を迎えた。太宰にゆかりのある各地には、今年も多くのファンが集まった。友人と一緒に太宰の墓のある禅林寺(三鷹市下連雀)を訪れた千葉県の会社員(33)は「中学生のときに『走れメロス』を読んで以来、太宰ファン。弱さを隠さない純粋さが最大の魅力。今もお新しい発見がある」と語った。

太宰が晩年を過ごした三鷹市では、昨年3月、太宰が通った伊勢元酒店の跡地に「太宰治文学サロン」を開設した。このサロンは展示された資料を見るだけでなく、訪れた太宰ファンが様々な情報や自分の思いを語り合える交流の場にもなっている」と関係者は語る。

今月は、18日まで延べ2485人が来館。昨日は179人が訪れ、1日当たりの来館者数としては過去最高を記録した。サロンを訪れた京都府に住む大学3年生(21)は「ここで初めて出会った人と太宰の話で盛り上がった。外国人の太宰ファンも来ていて驚いた。また来たい」と笑顔で話した。

「弁当の日」という取り組みが全国の学校に広がっている。香川県のある小学校では、5・6年生の児童が、年5回自分たちだけで作った弁当を食べている。ここでのねらいは、子どもの「自立」の食育を促し、伝統的な食文化を継承

### 「弁当の日」食育

して生まれる自信や、多くの人のおかげで食事をすることができるという気持ちや自立につながるという自信が、全国的に見ると、学校給食に地域域の食材を積極的に取り入れたり、伝統的な郷土料理を献立に盛り込んだりするところも広く行われている。これは地域の産業に対する理解を促し、伝統的な食文化を継承

### コラム

最近、文学作品を身近に感じさせる動きが盛んだ。文庫本のカバー一つとってみても、人気漫画家によるイラストや、芸能人の写真がデザインされているものがあり、文学ファンでなくても思わず手に取りたくなってしまふ。横書きで書かれた小説や電子書籍の売れ行きも好調であると聞く。今に始まったことではないが、いわゆる名作を漫画化したものが売れている現実も見逃せない。こうした動きは、特に若い世代に向けて、文学作品との新しいいかわり方を提案していると言っている。作者や内容にひかれるもよし、本のカバーにひかれるもよし、出会い方は自由であってよい。本の魅力を知る機会を得ることが大切なのだ。文学作品との出会い方や味わい方が多様化しても、本に描かれた世界を通して自分なりに価値を発見したり、新たな自分を創造したりすることに変わりはない。来年は国民読書年。本を手取る若い世代を大いに歓迎したい。

(61) この問題にあるような、長い文章を読むのは難しい

- ① 難しいと思う
- ② どちらかといえば、難しいと思う
- ③ どちらかといえば、難しいと思わない
- ④ 難しいと思わない

|       |                    |                      |         |
|-------|--------------------|----------------------|---------|
| 当てはまる | どちらかといえ<br>ば、当てはまる | どちらかといえ<br>ば、当てはまらない | 当てはまらない |
|-------|--------------------|----------------------|---------|

(57) 国語の授業で目的に応じて資料  
を読み、自分の考えを話したり、書  
いたりしている…………… ① — ② — ③ — ④

(58) 国語の授業で意見などを発表す  
るとき、うまく伝わるように話の組  
み立てを工夫している…………… ① — ② — ③ — ④

(59) 国語の授業で自分の考えを書  
くとき、考えの理由が分かるように気  
をつけて書いている…………… ① — ② — ③ — ④

(60) 国語の授業で文章を読むとき、  
段落や話のまとまりごとに内容を  
理解しながら読んでいる…………… ① — ② — ③ — ④

14 あなたは、<sup>こくご</sup>国語についてどのように<sup>おも</sup>思っていますか。<sup>あ</sup>当てはまるものを右の①から④の<sup>なか</sup>中から1つずつ<sup>えら</sup>選んでください。

|       |                |                  |         |
|-------|----------------|------------------|---------|
| 当てはまる | どちらかといえば、当てはまる | どちらかといえば、当てはまらない | 当てはまらない |
|-------|----------------|------------------|---------|

(52) <sup>こくご</sup>国語の<sup>べんきょう</sup>勉強は<sup>す</sup>好きだ…………… ① — ② — ③ — ④

(53) <sup>こくご</sup>国語の<sup>べんきょう</sup>勉強は<sup>たいせつ</sup>大切だ…………… ① — ② — ③ — ④

(54) <sup>こくご</sup>国語の<sup>じゅぎょう</sup>授業の<sup>ないよう</sup>内容はよく<sup>わ</sup>分かる・ ① — ② — ③ — ④

(55) <sup>どくしょ</sup>読書は<sup>す</sup>好きだ…………… ① — ② — ③ — ④

(56) <sup>こくご</sup>国語の<sup>じゅぎょう</sup>授業で<sup>がくしゅう</sup>学習したことは、  
<sup>しょうらい</sup>将来、<sup>しゃかい</sup>社会に<sup>で</sup>出たときに<sup>やく</sup>役に<sup>た</sup>立つ・ ① — ② — ③ — ④

### 3 質問紙調査項目 (教科関連部分)

解答類型 [点字問題] 【中学校国語】  
 A 主として「知識」に関する問題

◎…解答として求める条件をすべて満たしている正答

| 問題番号 | 解答類型              | 類型番号                                               |    |
|------|-------------------|----------------------------------------------------|----|
| 10   | 一<br>1            | ・エと解答しているもの                                        | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
|      | 一<br>2            | ・イと解答しているもの                                        | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
|      | 一<br>3            | ・アと解答しているもの                                        | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
|      | 二<br>1            | ・「物事（話）のはじめの部分」という意味が含まれているもの                      | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
|      | 二<br>2            | ・「瞬間的に物体に加えられた大きな力」または「力強く心を揺り動かされること」という意味が含まれるもの | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
|      | 二<br>3            | ・「誘い，導くこと」という意味が含まれるもの                             | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
|      | 三<br>ア            | ・3と解答しているもの                                        | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
|      | 三<br>イ            | ・4と解答しているもの                                        | 1◎ |
|      |                   | ・上記以外の解答                                           | 9  |
|      |                   | ・無解答                                               | 0  |
| 七    | ・アに2，イに3と解答しているもの | 1◎                                                 |    |
|      | ・上記以外の解答          | 9                                                  |    |
|      | ・無解答              | 0                                                  |    |
| 八    | ・2と解答しているもの       | 1◎                                                 |    |
|      | ・上記以外の解答          | 9                                                  |    |
|      | ・無解答              | 0                                                  |    |

# 解答類型

## 点字問題部分

| 問題番号     | 解 答 類 型                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 類型番号 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>3</b> | 三<br>(正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 【注目した表現】③と【注目した表現】④に共通した面白さを適切に書いている。<br>② 三十字以上、五十字以内で書いている。<br>~~~~~<br>(正答例)<br>・ (【注目した表現】③と【注目した表現】④には,) 猫が人間の暮らしぶりをあれこれ取り上げて偉そうに批判しているという点で共通した面白さがある。(46字)<br>・ (【注目した表現】③と【注目した表現】④には,) 猫が人間を偉そうに批判しているという面白さがある点で共通している。(33字)<br>・ (【注目した表現】③と【注目した表現】④には,) 猫が人間の生活を観察し、人間が気付かない点について意見を述べるという面白さがある点で共通している。(49字)<br>・ (【注目した表現】③と【注目した表現】④には,) 人間にとっては当たり前のことを、猫の目から見て大げさに描いていることが共通しているよ。(43字) |      |
|          | ・ 条件①, ②を満たして解答しているもの                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 1 ◎  |
|          | ・ 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2    |
|          | ・ 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 3    |
|          | ・ 上記以外の解答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 9    |
|          | ・ 無解答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 0    |

| 問題番号 | 解答類型          | 類型番号                          |                                                                              |
|------|---------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ③    | 一<br>A        | ・ 1 と解答しているもの                 | 1                                                                            |
|      |               | ・ 2 と解答しているもの                 | 2                                                                            |
|      |               | ・ 3 と解答しているもの                 | 3◎                                                                           |
|      |               | ・ 4 と解答しているもの                 | 4                                                                            |
|      |               | ・ 上記以外の解答                     | 9                                                                            |
|      |               | ・ 無解答                         | 0                                                                            |
|      |               | B                             | ・ 1 と解答しているもの                                                                |
|      | ・ 2 と解答しているもの |                               | 2                                                                            |
|      | ・ 3 と解答しているもの |                               | 3                                                                            |
|      | ・ 4 と解答しているもの |                               | 4                                                                            |
|      | ・ 上記以外の解答     |                               | 9                                                                            |
|      | ・ 無解答         |                               | 0                                                                            |
|      | 二             |                               | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 人間が何をどうすることが分かるよう適切に書いている。<br>② 十字以内で書いている。 |
|      |               | (正答例)<br>・ 衣服を着ること (7字)       |                                                                              |
|      |               | ・ 条件①, ②を満たして解答しているもの         | 1◎                                                                           |
|      |               | ・ 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの | 2                                                                            |
|      |               | ・ 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの | 3                                                                            |
|      |               | ・ 上記以外の解答                     | 9                                                                            |
|      |               | ・ 無解答                         | 0                                                                            |

| 問題番号       | 解 答 類 型                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 類型番号 |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>② 三</p> | <p>(正答の条件)<br/> 次の条件を満たして解答している。<br/> ① AからCまでの中のいずれか一つの〈修正の方法〉を選んで、その記号に○を付けている。<br/> ② 【提示する資料】の中にある言葉を使って書いている。<br/> ③ ①に合った〈修正の具体的なやり方〉を書いている。<br/> (①で選んだ〈修正の方法〉に照らして、〈修正の具体的なやり方〉が明らかに間違っている場合は、条件③を満たさないものとする。)<br/> ④ なぜ③の〈修正の具体的なやり方〉をとったのか〈その理由〉を適切に書いている。<br/> ⑤ 六十字以上、九十字以内で書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A<br/> 私なら、タイトルを「なぜ字が消えるのか」に修正する。なぜなら、発表することの中心をタイトルで示すと、これから話すことについて聞き手によく分かってもらえると思うからだ。(84字)</li> <li>・ A<br/> タイトルを「字が消える理由」に変えます。それは、消しゴムの何について発表しようとしているのかを最初に伝え、「字が消える仕組み」に注目してもらうためです。(77字)</li> <li>・ B<br/> 提示する資料の④を2番目にする。発表の中心となる「字が消える仕組み」を最初に示すと、何について発表するのか分かりやすくなるので、聞き手も理解しやすくなると思うからだ。(84字)</li> <li>・ B<br/> 提示する資料③、④の順番を入れ替えます。なぜなら、資料③と⑤は字が消えることと直接関係がないので、その他の情報として最後に付け加えればよいと思うからです。(78字)</li> <li>・ C<br/> ②、③の資料を使わないことにする。字が消える仕組みの説明が中心なので、消しゴムの原料や製造方法の説明は必要がないからだ。(61字)</li> <li>・ C<br/> 私は⑤を使いません。なぜなら、ケースの役割は字が消える仕組みと関係ないと思うので、⑤を使わない方が発表の中心である内容をより明確に説明することができるからです。(81字)</li> </ul> |      |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①、②、③、④、⑤を満たして解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 1◎   |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①、②、③、④を満たし、条件⑤を満たさないで解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 2    |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①、②、③、⑤を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 3    |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①、②、④、⑤を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 4    |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①、③、④、⑤を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 5    |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①を満たし、条件②、③、④、⑤を満たさないで解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 6    |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記以外の解答</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 9    |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無解答</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 0    |

| 問題番号 | 解 答 類 型 | 類型番号                                                                                             |    |  |
|------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--|
| 2    | 一       | ・ 1 と解答しているもの                                                                                    | 1  |  |
|      |         | ・ 2 と解答しているもの                                                                                    | 2  |  |
|      |         | ・ 3 と解答しているもの                                                                                    | 3  |  |
|      |         | ・ 4 と解答しているもの                                                                                    | 4◎ |  |
|      |         | ・ 上記以外の解答                                                                                        | 9  |  |
|      |         | ・ 無解答                                                                                            | 0  |  |
|      | 二       | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 【ノート】の中にある言葉を使って、説明を適切に書いている。<br>② 「黒鉛」という言葉に続くように、十五字以内で書いている。 |    |  |
|      |         | (正答例)<br>・ 消しゴムに引き付けられた (黒鉛) (12字)<br>・ 紙の繊維から取り除かれた (黒鉛) (12字)                                  |    |  |
|      |         | ・ 条件①, ②を満たして解答しているもの                                                                            | 1◎ |  |
|      |         | ・ 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの                                                                    | 2  |  |
|      |         | ・ 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの                                                                    | 3  |  |
|      |         | ・ 上記以外の解答                                                                                        | 9  |  |
|      |         | ・ 無解答                                                                                            | 0  |  |

| 問題番号              | 解 答 類 型                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 類型番号 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>1</p> <p>三</p> | <p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① AからCまでの中のいずれか一つの記事を選んで、その記号に○を付けている。</p> <p>② 選んだ記事のどのような内容について興味をもったのかが分かるように書いている。<br/>(書かれている内容が文章の内容に照らして明らかに間違っている場合は条件②を満たさないものとする。)</p> <p>③ 選んだ記事についての自分の感想を具体的に書いている。<br/>(記事を肯定的にとらえているか、否定的にとらえているかは問わない。)</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A<br/>「太宰の話で盛り上がった」とあるが、どのような話で盛り上がったのか興味をもった。私は「走れメロス」しか読んだことがないので、この記事を読んで他の作品も読んでみたいと思った。</li> <li>・ A<br/>1日に1179人もの人が「太宰治文学サロン」を訪れたというところに興味をもちました。なぜそんなに多くの人に愛されているのか、私も一度訪れてその魅力を確認してみたいと思いました。</li> <li>・ B<br/>私は、「5・6年生の児童が、年5回自分たちだけで作った弁当を食べている」ことに興味をもった。自分で食事を作ることで、いつも作ってくれている人への感謝の気持ちが生まれると思う。</li> <li>・ B<br/>伝統的な郷土料理を献立に盛り込むことが広く行われていることに興味をもちました。このような取り組みは、地域の歴史を知る上でも大切なので、私の学校でも行ってほしいと思います。</li> <li>・ C<br/>文学作品との出会い方や味わい方が多様化しているということに興味をもった。私はもともと読書が好きだが、漫画化された文学作品も読んでみて、感じ方に違いがあるのか比べてみたいと思った。</li> <li>・ C<br/>「文学作品との新しいかかわり方を提案している」というところに興味をもちました。現代は様々なメディアがあるので、活字だけでなく、映画や漫画などで文学作品に触れるのもよいと思います。</li> </ul> |      |
|                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 1◎   |
|                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 2    |
|                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 3    |
|                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記以外の解答</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 9    |
|                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無解答</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 0    |

解答類型【中学校国語】

B 主として「活用」に関する問題

◎ … 解答として求める条件をすべて満たしている正答

| 問題番号 | 解答類型 | 類型番号                                                                   |    |
|------|------|------------------------------------------------------------------------|----|
| 1    | 一    | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① アに「二十」と書いている。<br>② イに「三」と書いている。       |    |
|      |      | (正答)<br>・ (平成) <sup>ア</sup> 二十(年) <sup>イ</sup> 三(月) ※ 算用数字(アラビア数字)でも可。 |    |
|      |      | ・ 条件①, ②を満たして解答しているもの                                                  | 1◎ |
|      |      | ・ 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの                                          | 2  |
|      |      | ・ 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの                                          | 3  |
|      |      | ・ 上記以外の解答                                                              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                                                                  | 0  |
|      | 二    | ・ 1と解答しているもの                                                           | 1  |
|      |      | ・ 2と解答しているもの                                                           | 2◎ |
|      |      | ・ 3と解答しているもの                                                           | 3  |
|      |      | ・ 4と解答しているもの                                                           | 4  |
|      |      | ・ 上記以外の解答                                                              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                                                                  | 0  |



## 解答類型

### B 主として「活用」に関する問題

| 問題番号      | 解答類型          | 類型番号          |    |
|-----------|---------------|---------------|----|
| 10        | 六             | ・ 1 と解答しているもの | 1  |
|           |               | -----         |    |
|           |               | ・ 2 と解答しているもの | 2  |
|           |               | -----         |    |
|           |               | ・ 3 と解答しているもの | 3  |
|           |               | -----         |    |
|           |               | ・ 4 と解答しているもの | 4◎ |
|           | -----         |               |    |
|           | ・ 上記以外の解答     | 9             |    |
|           | -----         |               |    |
|           | ・ 無解答         | 0             |    |
|           | 七             | ・ 1 と解答しているもの | 1  |
|           |               | -----         |    |
|           |               | ・ 2 と解答しているもの | 2  |
|           |               | -----         |    |
|           |               | ・ 3 と解答しているもの | 3◎ |
|           |               | -----         |    |
|           |               | ・ 4 と解答しているもの | 4  |
|           | -----         |               |    |
|           | ・ 上記以外の解答     | 9             |    |
|           | -----         |               |    |
| ・ 無解答     | 0             |               |    |
| 八         | ・ 1 と解答しているもの | 1             |    |
|           | -----         |               |    |
|           | ・ 2 と解答しているもの | 2◎            |    |
|           | -----         |               |    |
|           | ・ 3 と解答しているもの | 3             |    |
|           | -----         |               |    |
|           | ・ 4 と解答しているもの | 4             |    |
| -----     |               |               |    |
| ・ 上記以外の解答 | 9             |               |    |
| -----     |               |               |    |
| ・ 無解答     | 0             |               |    |

| 問題番号          | 解答類型          | 類型番号           |    |
|---------------|---------------|----------------|----|
| 10            | 三<br>才        | ・ 1 と解答しているもの  | 1  |
|               |               | -----          |    |
|               |               | ・ 2 と解答しているもの  | 2  |
|               |               | -----          |    |
|               |               | ・ 3 と解答しているもの  | 3◎ |
|               |               | -----          |    |
|               |               | ・ 4 と解答しているもの  | 4  |
|               | -----         |                |    |
|               | ・ 上記以外の解答     | 9              |    |
|               | -----         |                |    |
|               | ・ 無解答         | 0              |    |
|               | 四<br>1        | ・ 「さ」と解答しているもの | 1◎ |
|               |               | -----          |    |
|               |               | ・ 上記以外の解答      | 9  |
|               |               | -----          |    |
|               |               | ・ 無解答          | 0  |
|               |               | -----          |    |
|               | 2             | ・ 「の」と解答しているもの | 1◎ |
|               |               | -----          |    |
|               |               | ・ 上記以外の解答      | 9  |
|               | -----         |                |    |
| ・ 無解答         | 0             |                |    |
| 五<br>A        | ・ 1 と解答しているもの | 1              |    |
|               | -----         |                |    |
|               | ・ 2 と解答しているもの | 2◎             |    |
|               | -----         |                |    |
|               | ・ 3 と解答しているもの | 3              |    |
|               | -----         |                |    |
|               | ・ 4 と解答しているもの | 4              |    |
|               | -----         |                |    |
|               | ・ 上記以外の解答     | 9              |    |
|               | -----         |                |    |
|               | ・ 無解答         | 0              |    |
|               | B             | ・ 1 と解答しているもの  | 1  |
|               |               | -----          |    |
|               |               | ・ 2 と解答しているもの  | 2  |
| -----         |               |                |    |
| ・ 3 と解答しているもの |               | 3◎             |    |
| -----         |               |                |    |
| ・ 4 と解答しているもの |               | 4              |    |
| -----         |               |                |    |
| ・ 上記以外の解答     | 9             |                |    |
| -----         |               |                |    |
| ・ 無解答         | 0             |                |    |

| 問題番号          | 解答類型          | 類型番号          |    |
|---------------|---------------|---------------|----|
| 10            | 三<br>ア        | ・ 1 と解答しているもの | 1  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 2 と解答しているもの | 2  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 3 と解答しているもの | 3◎ |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 4 と解答しているもの | 4  |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 上記以外の解答     | 9             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 無解答         | 0             |    |
|               | イ             | ・ 1 と解答しているもの | 1  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 2 と解答しているもの | 2  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 3 と解答しているもの | 3  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 4 と解答しているもの | 4◎ |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 上記以外の解答     | 9             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 無解答         | 0             |    |
|               | ウ             | ・ 1 と解答しているもの | 1◎ |
|               |               | -----         |    |
| ・ 2 と解答しているもの |               | 2             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 3 と解答しているもの |               | 3             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 4 と解答しているもの |               | 4             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 上記以外の解答     | 9             |               |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 無解答         | 0             |               |    |
| エ             | ・ 1 と解答しているもの | 1◎            |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 2 と解答しているもの | 2             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 3 と解答しているもの | 3             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 4 と解答しているもの | 4             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 上記以外の解答     | 9             |               |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 無解答         | 0             |               |    |

| 問題番号     | 解答類型   | 類型番号                          |                             |    |
|----------|--------|-------------------------------|-----------------------------|----|
| 10       | 一<br>1 | ・「相談」と解答しているもの                | 1◎                          |    |
|          |        | ・「相談」のうち「相」だけ正しく解答しているもの      | 2                           |    |
|          |        | ・「相談」のうち「談」だけ正しく解答しているもの      | 3                           |    |
|          |        | ・上記以外の解答                      | 9                           |    |
|          |        | ・無解答                          | 0                           |    |
|          |        | ・「公式」と解答しているもの                | 1◎                          |    |
|          | 2      | ・「公式」のうち「公」だけ正しく解答しているもの      | 2                           |    |
|          |        | ・「公式」のうち「式」だけ正しく解答しているもの      | 3                           |    |
|          |        | ・上記以外の解答                      | 9                           |    |
|          |        | ・無解答                          | 0                           |    |
|          |        | 3                             | ・「姿」と解答しているもの               | 1◎ |
|          |        |                               | ・上記以外の解答                    | 9  |
|          | ・無解答   |                               | 0                           |    |
|          | 二      | 1                             | ・「ぼうとう」と解答しているもの            | 1◎ |
|          |        |                               | ・「ぼうとう」のうち「ぼう」だけ正しく解答しているもの | 2  |
|          |        |                               | ・「ぼうとう」のうち「とう」だけ正しく解答しているもの | 3  |
|          |        |                               | ・上記以外の解答                    | 9  |
|          |        |                               | ・無解答                        | 0  |
| 2        |        |                               | ・「しょうげき」と解答しているもの           | 1◎ |
|          |        | ・「しょうげき」のうち「しょう」だけ正しく解答しているもの | 2                           |    |
|          |        | ・「しょうげき」のうち「げき」だけ正しく解答しているもの  | 3                           |    |
|          |        | ・上記以外の解答                      | 9                           |    |
|          |        | ・無解答                          | 0                           |    |
|          |        | 3                             | ・「みちび(く)」と解答しているもの          | 1◎ |
| ・上記以外の解答 |        |                               | 9                           |    |
| ・無解答     |        |                               | 0                           |    |

| 問題番号 | 解 答 類 型 | 類型番号                                                                                                    |    |
|------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 9    | 一<br>ア  | ・「日時」のように解答しているもの                                                                                       | 1◎ |
|      |         | ・上記以外の解答                                                                                                | 9  |
|      |         | ・無解答                                                                                                    | 0  |
|      | イ       | ・「場所」のように解答しているもの                                                                                       | 1◎ |
|      |         | ・上記以外の解答                                                                                                | 9  |
|      |         | ・無解答                                                                                                    | 0  |
|      | 二       | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 小学生に向けた公的な文章として、適切な表現で書いている。<br>② 【案内文A】の内容を参考にして書いている。<br>③ 一文で書いている。 |    |
|      |         | (正答例)<br>・ 用事もあると思いますが、ぜひ参加をお願いします。<br>・ ぜひ参加をお願いします。                                                   |    |
|      |         | ・条件①, ②, ③を満たして解答しているもの                                                                                 | 1◎ |
|      |         | ・条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの                                                                         | 2  |
|      |         | ・条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの                                                                         | 3  |
|      |         | ・条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの                                                                         | 4  |
|      |         | ・上記以外の解答                                                                                                | 9  |
| ・無解答 | 0       |                                                                                                         |    |

| 問題番号 | 解答類型 | 類型番号                   |    |
|------|------|------------------------|----|
| 6    | 一    | ・ 1, 2, 3, 4 と解答しているもの | 1◎ |
|      |      | ・ 上記以外の解答              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                  | 0  |
|      | 二    | ・ 「笑顔」と解答しているもの        | 1◎ |
|      |      | ・ 上記以外の解答              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                  | 0  |
| 7    | 一    | ・ 1 と解答しているもの          | 1  |
|      |      | ・ 2 と解答しているもの          | 2  |
|      |      | ・ 3 と解答しているもの          | 3  |
|      |      | ・ 4 と解答しているもの          | 4◎ |
|      |      | ・ 上記以外の解答              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                  | 0  |
|      | 二    | ・ 1 と解答しているもの          | 1  |
|      |      | ・ 2 と解答しているもの          | 2◎ |
|      |      | ・ 3 と解答しているもの          | 3  |
|      |      | ・ 4 と解答しているもの          | 4  |
|      |      | ・ 上記以外の解答              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                  | 0  |
| 8    | 一    | ・ 1, 3, 5 と解答しているもの    | 1◎ |
|      |      | ・ 上記以外の解答              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                  | 0  |
|      | 二    | ・ 1 と解答しているもの          | 1◎ |
|      |      | ・ 2 と解答しているもの          | 2  |
|      |      | ・ 3 と解答しているもの          | 3  |
|      |      | ・ 4 と解答しているもの          | 4  |
|      |      | ・ 上記以外の解答              | 9  |
|      |      | ・ 無解答                  | 0  |

| 問題番号        | 解答類型        | 類型番号                                                                                                  |    |             |
|-------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------|
| 4           | 一           | ・「言われました」のように解答しているもの                                                                                 | 1◎ |             |
|             |             | ・上記以外の解答                                                                                              | 9  |             |
|             |             | ・無解答                                                                                                  | 0  |             |
|             | 二           | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 意味は変えずに二つの文に適切に分けて書いている。<br>② 「目標です」に対応する主語を補って二文めを適切に書いている。         |    |             |
|             |             | (正答例)<br>一文め ・ 今、私たちは全国大会出場に向けて練習しています。<br>二文め ・ 全国大会出場は、三年生にとって最大の(目標です。)<br>・ それは、三年生にとって最大の(目標です。) |    |             |
|             |             | ・条件①、②を満たして解答しているもの                                                                                   | 1◎ |             |
|             |             | ・条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの                                                                           | 2  |             |
|             |             | ・条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの                                                                           | 3  |             |
|             |             | ・上記以外の解答                                                                                              | 9  |             |
|             |             | ・無解答                                                                                                  | 0  |             |
|             |             | 5                                                                                                     | 一  | ・1と解答しているもの |
| ・2と解答しているもの |             |                                                                                                       |    | 2           |
| ・3と解答しているもの |             |                                                                                                       |    | 3◎          |
| ・4と解答しているもの | 4           |                                                                                                       |    |             |
| ・上記以外の解答    | 9           |                                                                                                       |    |             |
| ・無解答        | 0           |                                                                                                       |    |             |
| 二           | ・1と解答しているもの |                                                                                                       |    | 1◎          |
|             | ・2と解答しているもの |                                                                                                       | 2  |             |
|             | ・3と解答しているもの |                                                                                                       | 3  |             |
|             | ・4と解答しているもの |                                                                                                       | 4  |             |
|             | ・上記以外の解答    |                                                                                                       | 9  |             |
|             | ・無解答        | 0                                                                                                     |    |             |

解答類型【中学校国語】

A 主として「知識」に関する問題

◎ … 解答として求める条件をすべて満たしている正答

| 問題番号          | 解 答 類 型       | 類型番号          |               |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1             | ・ 1 と解答しているもの | 1             |               |
|               | ・ 2 と解答しているもの | 2◎            |               |
|               | ・ 3 と解答しているもの | 3             |               |
|               | ・ 4 と解答しているもの | 4             |               |
|               | ・ 上記以外の解答     | 9             |               |
|               | ・ 無解答         | 0             |               |
|               | 2             | ・ 1 と解答しているもの | 1             |
| ・ 2 と解答しているもの |               | 2◎            |               |
| ・ 3 と解答しているもの |               | 3             |               |
| ・ 4 と解答しているもの |               | 4             |               |
| ・ 上記以外の解答     |               | 9             |               |
| ・ 無解答         |               | 0             |               |
| 3             |               | 一             | ・ 1 と解答しているもの |
|               | ・ 2 と解答しているもの |               | 2             |
|               | ・ 3 と解答しているもの |               | 3◎            |
|               | ・ 4 と解答しているもの |               | 4             |
|               | ・ 上記以外の解答     |               | 9             |
|               | ・ 無解答         |               | 0             |
|               | 二             |               | ・ 1 と解答しているもの |
|               |               | ・ 2 と解答しているもの | 2             |
|               |               | ・ 3 と解答しているもの | 3             |
|               |               | ・ 4 と解答しているもの | 4◎            |
|               |               | ・ 上記以外の解答     | 9             |
|               |               | ・ 無解答         | 0             |



## 2 解答類型

### A 主として「知識」に関する問題

調査問題一覧表 【中学校国語】  
B 主として「活用」に関する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨                              | 学習指導要領の領域等 |   |   |   |    | 評価の観点 |   |   |    | 問題形式 |   |   |
|------|-------|------------------------------------|------------|---|---|---|----|-------|---|---|----|------|---|---|
|      |       |                                    | 聞話         | 書 | 読 | 言 | 関  | 話     | 書 | 読 | 知  | 選    | 短 | 記 |
|      |       |                                    | く          | く | む | 語 | 心  | す     | く | む | 識  | 択    | 答 | 述 |
|      |       |                                    | こ          | こ | こ | 事 | ・  | ・     | 能 | 能 | 語  | 式    | 式 | 式 |
|      |       |                                    | と          | と | と | 項 | へ  | 聞     | 力 | 力 | につ |      |   |   |
|      |       |                                    |            |   |   |   | 態  | く     |   |   | いて |      |   |   |
|      |       |                                    |            |   |   |   | 度の | 能     |   |   | 能の |      |   |   |
| 1    | 一     | トップ記事で紹介している施設が開設された年月を書く          |            |   | ○ |   |    |       |   | ○ |    |      | ○ |   |
|      | 二     | トップ記事とコラムとを比較し、書き方の特徴として適切なものを選択する |            |   | ○ |   |    |       |   | ○ |    | ○    |   |   |
|      | 三     | 新聞を読んで、興味をもった記事について感想を書く           |            | ○ | ○ |   | ○  |       | ○ | ○ |    |      |   | ○ |
| 2    | 一     | 提示する資料に表れている工夫として適切なものを選択する        |            |   | ○ |   |    |       |   | ○ |    | ○    |   |   |
|      | 二     | 提示する資料に、説明したい内容を簡潔に書く              |            | ○ | ○ |   |    |       | ○ | ○ |    |      | ○ |   |
|      | 三     | 資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く    | ○          | ○ |   |   | ○  | ○     | ○ |   |    |      |   | ○ |
| 3    | 一     | 前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する        |            |   | ○ |   |    |       |   | ○ |    | ○    |   |   |
|      |       |                                    |            | ○ |   |   |    | ○     |   | ○ |    |      |   |   |
|      | 二     | 本文中の表現がたとえている内容をとらえて書く             |            |   | ○ |   |    |       |   | ○ |    |      | ○ |   |
|      | 三     | 二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く          |            | ○ | ○ |   | ○  |       | ○ | ○ |    |      |   | ○ |

| 問題<br>問題番号 | 問題の概要  | 出題の趣向                                    | 学習指導要領の領域等                         |   |   |    | 評価の観点              |             |      |      | 問題形式              |     |     |
|------------|--------|------------------------------------------|------------------------------------|---|---|----|--------------------|-------------|------|------|-------------------|-----|-----|
|            |        |                                          | 聞話                                 | 書 | 読 | 言語 | 関心・<br>語意欲・<br>態度の | 話す・<br>聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 知識・<br>理解・<br>技能の | 選択式 | 短答式 |
| 10         | 一<br>1 | 漢字を書く（先生にソウダンする）                         |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 一<br>2 | 漢字を書く（コウシ主を使って面積を求める）                    |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 一<br>3 | 漢字を書く（鏡にスガタをうつす）                         |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 二<br>1 | 漢字を読む（物語の冒頭を読む）                          |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 二<br>2 | 漢字を読む（衝撃を受ける）                            |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 二<br>3 | 漢字を読む（調べたことから結論を導く）                      |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 三<br>ア | 同音異義語から適切なものを選択する（物質が変化していく過程を調べる）       |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 三<br>イ | 同訓異字から適切なものを選択する（会議で決を採る）                |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 三<br>ウ | 適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです）     |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 三<br>エ | 適切な敬語を選択する（参観日には父が学校へ来ると申しておりました）        |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 三<br>オ | 適切な語句を選択する（兄は困っている人を見るとほうっておけない性分だ）      |                                    |   |   | ○  |                    |             |      |      | ○                 | ○   |     |
|            | 四<br>1 | 同じような意味の文になるように適切な一字を書く                  | 単語の類別や働きについて理解し、同じような意味を表すように書き換える |   |   |    | ○                  |             |      |      |                   | ○   | ○   |
|            | 四<br>2 |                                          |                                    |   |   |    | ○                  |             |      |      |                   | ○   | ○   |
|            | 五<br>A | 部首の説明として適切なものを選択する（りっしんべん）               | 漢字の成り立ちについて理解する                    |   |   |    | ○                  |             |      |      |                   | ○   | ○   |
|            | 五<br>B | 部首の説明として適切なものを選択する（うかんむり）                |                                    |   |   |    | ○                  |             |      |      |                   | ○   | ○   |
|            | 六      | 国語辞典で調べたことをもとに、ことわざに込められた思いとして適切なものを選択する | 辞書を活用して、ことわざの文脈における意味を理解する         |   |   |    | ○                  |             |      |      |                   | ○   | ○   |
|            | 七      | 行書の特徴の説明として適切なものを選択する                    | 漢字の楷書と行書との違いを理解する                  |   |   |    | ○                  |             |      |      |                   | ○   | ○   |
|            | 八      | 読みやすい連絡板にするための先生の助言として適切なものを選択する         | 目的に応じて、文字の大きさや配列・配置に気を付けて書く        |   |   |    | ○                  |             |      |      |                   | ○   | ○   |

調査問題一覧表 【中学校国語】  
A 主として「知識」に関する問題

| 問題番号 | 問題の概要                               | 出題の趣向                          | 学習指導要領の領域等 |   |   |    | 評価の観点     |         |      |      | 問題形式      |     |     |
|------|-------------------------------------|--------------------------------|------------|---|---|----|-----------|---------|------|------|-----------|-----|-----|
|      |                                     |                                | 聞話         | 書 | 読 | 言語 | 関心・語感・態度の | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 知識・理解・技能の | 選択式 | 短答式 |
| 1    | 百人一首の上の句に続く下の句を選択する                 | 現代語訳を参考にして古文の内容をとらえる           |            |   | ○ |    |           |         | ○    |      | ○         |     |     |
| 2    | 書き手が用いた根拠の不十分さを指摘したものとして適切なものを選択する  | 述べている内容とその根拠との関係について考える        |            |   | ○ |    |           |         | ○    |      | ○         |     |     |
| 3    | 一 演説の話し方の特徴として適切なものを選択する            | 表現の仕方に注意して説得力のある話をする           | ○          |   |   |    |           |         | ○    |      |           | ○   |     |
|      | 二 演説の際、聞き手が重視して聞いているものとして適切なものを選択する | 話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取る          | ○          |   |   |    |           |         | ○    |      |           | ○   |     |
| 4    | 一 修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直す             | 書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする    |            | ○ |   |    |           |         | ○    |      |           |     | ○   |
|      | 二 一文を二文に分けて書く                       |                                |            | ○ |   |    |           |         | ○    |      |           |     | ○   |
| 5    | 一 「ほく」が悲しくなってきた理由として適切なものを選択する      | 文章の展開に即して内容をとらえ、登場人物の心情について考える |            |   | ○ |    |           |         |      |      | ○         |     |     |
|      | 二 文章の表現の特徴として適切なものを選択する             | 文章の特徴をとらえる                     |            |   | ○ |    |           |         |      |      | ○         |     |     |
| 6    | 一 体言止めを用いている行の番号を詩の中から選択する          | 表現の仕方に注意し、その効果を考える             |            |   | ○ |    |           |         |      |      | ○         |     |     |
|      | 二 解説文にある言葉と同じ内容を表す言葉を詩の中から抜き出す      | 文脈の中における語句の意味を理解する             |            |   | ○ |    |           |         |      |      | ○         |     |     |
| 7    | 一 提案に対する適切な質問を選択する                  | 目的に沿った話合いになるように、適切に質問する        | ○          |   |   |    |           |         | ○    |      |           | ○   |     |
|      | 二 話合いの中での発言のもつ役割として適切なものを選択する       | 話合いを効果的に展開させる発言の役割について理解する     | ○          |   |   |    |           |         | ○    |      |           | ○   |     |
| 8    | 一 「鳥とは違う」カモノハシの特徴を選択する              | 論理の展開の仕方をとらえて、内容を理解する          |            |   | ○ |    |           |         |      |      | ○         |     |     |
|      | 二 「ひどい文章」の説明として適切なものを選択する           | 文章の展開に即して内容を理解する               |            |   | ○ |    |           |         |      |      | ○         |     |     |
| 9    | 一 ア 案内文に必要な項目の名称を書く                 | 伝えるべき内容について整理して書く              |            | ○ |   |    |           |         | ○    |      |           |     | ○   |
|      | 二 イ                                 |                                |            | ○ |   |    |           | ○       |      |      |           | ○   |     |
|      | 三 小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く           | 相手に応じて表現を工夫して書く                |            | ○ |   |    |           |         | ○    |      |           |     | ○   |

# 1 調查問題一覽表